

社 会

1 編集の具体的方針

(1) 各学年の分冊

学年	巻	内 容
3年	3-1	生活科をふり返ろう 社会科の学習の進め方 社会科の見方や考え方/他の教科とのかかわり 1 わたしたちのまちと市 1. まちの様子 (1) 自分の家やよく行く場所はどこにあるの (2) 自分の家やよく行く場所をさがそう (3) 学習問題をつくり, 学習の見通しを立てよう (4) 駅のまわりのコースをたんけん (5) 土地の高いところと低いところコースをたんけん (6) まちの様子を表にまとめよう 2. 市の様子 (1) わたしたちの市はどこにあるの (2) 県や市の地図をながめて (3) 学習問題をつくり, 学習の見通しをたてよう (4) 市役所へ行って調べよう (5) 市役所のまわり (6) 大きな駅のまわり (7) 海に面した所 (8) 緑の多いところ (9) 住む人がふえてきた所 (10) 古いたてもものがある所 (11) 市の様子をまとめよう まとめる 市の様子をまとめよう ひろげる 地図記号ってなんだろう ひろげる まちの昔と今を地図でくらべる わくわく! 社会科ガイド

3-2	<p>2 はたらく人とわたしたちの暮らし</p> <p>1. 店ではたらく人と仕事</p> <p>(1) 買い物はどこで</p> <p>(2) 買い物調べでわかったこと</p> <p>(3) レシートからわかること</p> <p>(4) 学習の見通しを立てよう</p> <p>(5) スーパーマーケットの様子を調べよう</p> <p>(6) 商品はどこから</p> <p>(7) 買い物で気をつけていることと店のくふう</p> <p>まとめる 店のくふうをまとめよう</p> <p>つなげる よりよい買い物をするために</p> <p>2.-1 工場ではたらく人と仕事【せんたく】</p> <p>(1) まちで人気のしゅうまい</p> <p>(2) 学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう</p> <p>(3) 工場をたずねて</p> <p>(4) はたらく人が気をつけていること</p> <p>(5) 工場ではたらく人たち</p> <p>(6) 製品はどこへ，原料はどこから</p> <p>まとめる 地いきとともに歩むものづくり</p> <p>2.-2 農家の仕事【せんたく】</p> <p>(1) 地いきでつくられる野菜</p> <p>(2) 学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう</p> <p>(3) 加藤さんの畑をたずねて</p> <p>(4) こまつなづくりのくふう</p> <p>(5) こまつなはどこへ</p> <p>まとめる 地いきとつながる野菜づくり</p> <p>ひろげる ちらしをつくって，しごとのくふうをつたえよう</p>
3-3	<p>3 地いきの安全を守る</p> <p>1. 火事からまちを守る</p> <p>(1) 火事が起きたらどうなる</p> <p>(2) 学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう</p> <p>(3) 消防しょをたずねて</p> <p>(4) 消防しょとさまざまな人のはたらき</p> <p>(5) 消防しょの一日</p> <p>(6) 学校の消防せつびを調べよう</p> <p>(7) 地いきの人々の協力</p> <p>まとめる 火事からまちを守るはたらき</p> <p>つなげる 自分やまちを守るために，わたしたちにできること</p>

		<p>2. 事故や事件からまちを守る</p> <p>(1) 事故が起きたら</p> <p>(2) 学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう</p> <p>(3) 交通事故のしより</p> <p>(4) けいさつの仕事</p> <p>(5) 学校のまわりを調べよう</p> <p>(6) 地いきの人の協力</p> <p>まとめる 事故や事件からまちを守るはたらき</p>
3-4	4	<p>わたしたちの市の歩み</p> <p>1. かわる道具とくらし</p> <p>(1) 昔の道具</p> <p>(2) 学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう</p> <p>(3) 郷土資料館をたずねて</p> <p>(4) 昔のくらしをインタビューする</p> <p>(5) かわってきたくらし</p> <p>まとめる 道具とくらしのうつりかわり</p> <p>2. 市のうつりかわり</p> <p>(1) かわるまちの様子</p> <p>(2) 学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう</p> <p>(3) 交通はどのようにかわったのかな</p> <p>(4) 土地の使われ方はどのようにかわったのかな</p> <p>(5) 人口はどのようにかわったのかな</p> <p>(6) 公共しせつはどのようにかわったのかな</p> <p>まとめる 年表を書き足そう</p> <p>つなげる 年表を見て話し合おう</p> <p>ひろげる うつりかわる地いき</p> <p>3年生の学習をふり返ろう</p>
4年	4-1	<p>前の学年をふり返ろう</p> <p>社会科の見方や考え方/他の教科とのかかわり</p> <p>社会科の学習の進め方</p> <p>広げてみよう，市から県へ</p> <p>みりょくがいっぱい！ 知りたいな，47都道府県</p> <p>1 県の地図を広げて</p> <p>(1) 県の地図を見てみよう</p> <p>(2) 県の土地の使われ方</p> <p>(3) 農業や漁業がさかんな地いき</p> <p>(4) 工業がさかんな地いき</p> <p>(5) 県の交通の様子</p> <p>まとめる 県の様子について調べたことを整理しよう</p>

4-2	2	<p>健康なくらしとまちづくり</p> <p>1. ごみはどこへ</p> <p>(1) 家のごみを調べて</p> <p>(2) 学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう</p> <p>(3) ごみの収集の様子を調べよう</p> <p>(4) 清掃工場を見学しよう</p> <p>(5) もやしたごみの灰のゆくえ</p> <p>(6) 資源ごみのゆくえ</p> <p>(7) ごみが処理されるまでを整理しよう</p> <p>(8) ごみの問題と向き合って</p> <p>(9) 地いきではたらく人々の取り組み</p> <p>(10) ごみを減らしたいと願う人々は</p> <p>まとめる ごみの問題について，地域の人と話し合おう</p> <p>ひろげる 環境にやさしいまちづくりに取り組む人たち</p> <p>2.-1 水はどこから【せんたく】</p> <p>(1) 1日に使う水の量を調べよう</p> <p>(2) 学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう</p> <p>(3) 水はどこから流れてくるのか</p> <p>(4) 浄水場を見学しよう</p> <p>(5) 水をたくわえるダムや森林</p> <p>(6) 水源を守る取り組み</p> <p>(7) 水道管を守る人々</p> <p>(8) 使ったあとの水のゆくえは</p> <p>(9) 水を大切に使うということは…</p> <p>まとめる 水の通り道をすごろくに表そう！</p> <p>つなげる 学んだことを，くらしに役立てよう</p> <p>2.-2 くらしと電気【せんたく】</p> <p>(1) 電気はどこから</p> <p>(2) どのようにして，電気をつくるの</p> <p>(3) くらしと電気のこれから</p> <p>2.-3 ガスはどこから【せんたく】</p> <p>(1) ガスはどこから</p>
4-3	3	<p>自然災害にそなえるまちづくり</p> <p>1.-1 地震にそなえるまちづくり【せんたく】</p> <p>(1) 大きな地震が起こったら</p> <p>(2) 市役所へ行って調べよう</p> <p>(3) 大切な情報</p> <p>(4) 住民の命やくらしを守るために</p> <p>(5) 地震防災センターで調べよう</p>

		<p>(6) 地域でくらす人々のそなえを調べよう (7) 身の安全をたしかなものにしよう まとめる 地震や津波にそなえて</p> <p>1.-2 水害にそなえるまちづくり【せんたく】 (1) 水につかったまち (2) 水防学習館で調べよう (3) 市役所へ行って調べよう (4) ひがいがくり返されないために (5) 地域住民の取り組み まとめる 水害にそなえて</p> <p>1.-3 火山の噴火にそなえて【せんたく】 (1) 火山の噴火にそなえて</p> <p>1.-4 雪の災害にそなえて【せんたく】 (1) 雪の災害にそなえて</p>
4-4	4	<p>地域で受けつがれてきたもの (1) 阿波おどり会館で調べよう (2) おどりにての人に話をきこう (3) 阿波おどりの発展 (4) さがそう，昔から受けつがれてきたもの (5) 阿波人形浄瑠璃について調べよう (6) 阿波人形浄瑠璃を守り伝えるために まとめる 未来へ，受けつがれていくために</p> <p>5-1 昔から今へと続くまちづくり【せんたく】 (1) 米がほしいけれど (2) 見沼代用水と井沢弥惣兵衛 (3) どうやって水を引いた？ (4) ふたてに分かれた用水路 (5) どのようにして工事は行われた？ (6) 調べてきたことを整理しよう (7) もっと知ろう，井沢弥惣兵衛 (8) そして，ゆたかな土地に (9) 未来に残そう，みんなの見沼 まとめる 昔と今を地図でつなげよう！</p> <p>5-2 地域に学校をひらく【せんたく】 (1) 地域に学校をひらく</p> <p>5-3 地域の人々を病気から救う【せんたく】 (1) 地いきの人々を病気から救う</p> <p>5-4 沖縄の文化のよさを伝える【せんたく】 (1) 沖縄の文化のよさを伝える</p>

		5-5 北海道で、いねを実らせる【せんたく】 (1) 北海道で、いねを実らせる
4-5	6 わたしたちの県のまちづくり	<p>1. 焼き物を生かしたまちづくり</p> <p>(1) 焼き物づくりがさかんな東峰村</p> <p>(2) 小石川焼が広まったわけは</p> <p>(3) 小石川焼ができるまで</p> <p>(4) 小石川焼のよさを広めるために</p> <p>まとめる 東峰村の発展を願って</p> <p>ひろげる 箱根寄木細工のぎじゅつを受けつぐ人々</p> <p>ひろげる 地域のよさを生かして</p> <p>2.-1 昔のよさを未来に伝えるまちづくり【せんたく】</p> <p>(1) 昔のものが多く残る太宰府市</p> <p>(2) 昔からひらかれていた太宰府市</p> <p>(3) 昔のものが守られるまでには</p> <p>(4) 太宰府のよさを守るために</p> <p>(5) 未来に伝えたい太宰府のよさ</p> <p>まとめる 太宰府市の発展を願って</p> <p>2.-2 自然を生かしたまちづくり【せんたく】</p> <p>(1) 海と山にかこまれた岡垣町</p> <p>(2) アカウミガメを守る地域の人々</p> <p>(3) 自然のよさを生かしたびわづくり</p> <p>(4) 「海がめもかえるまち」のまちづくり</p> <p>まとめる 岡垣町の発展を願って</p> <p>3. 国際交流がさかんなまちづくり</p> <p>(1) 国際大会が行われる福岡市</p> <p>(2) 二つのげんかん</p> <p>(3) アジアの中の福岡市</p> <p>まとめる 世界との交流の輪が広がることを願って</p> <p>つなげる 自分たちの県</p> <p>4年生の学習をふり返ろう</p>
5年	5-1	<p>前の学年をふり返ろう</p> <p>社会科の見方や考え方</p> <p>社会科の学習の進め方</p> <p>1 日本の国土とわたしたちの暮らし</p> <p>1. 日本の国土と世界の国々</p> <p>(1) ワールドツアーへ!</p> <p>(2) 日本から世界へ、世界から日本へ</p> <p>(3) 日本の国土のすがた</p>

		<p>(4) 日本の国土はどこまで？ まとめる</p> <p>2. 国土の気候と地形の特色</p> <p>(1) 変化の大きい日本の自然</p> <p>(2) 気温と地形との関係</p> <p>(3) 日本のさまざまな気候</p> <p>まとめる</p> <p>巻末資料</p>
5-2	3. 自然条件と人々の暮らし【せんたく】	<p>(1) あたたかい地域と寒い地域，高地と低地</p> <p>(2) -1 あたたかい気候と沖縄県の観光</p> <p>(3) -1 あたたかい気候と沖縄県の農業・漁業</p> <p>(4) -1 暑さと台風と，沖縄県の人々の暮らし</p> <p>(5) -1 高地の自然条件と，野辺山原の農業</p> <p>(6) -1 高地の自然条件と，野辺山原の酪農・観光</p> <p>(7) -1 あれ地や寒さと，野辺山原の人々の暮らし</p> <p>まとめる</p> <p>(2) -2 寒い気候と北海道の観光【せんたく】</p> <p>(3) -2 寒い気候と北海道の農業・漁業【せんたく】</p> <p>(4) -2 寒さや雪と，北海道の人々の暮らし【せんたく】</p> <p>(5) -2 低地の自然条件と，佐原北部の農業【せんたく】</p> <p>(6) -2 低地の自然条件と，佐原北部の観光【せんたく】</p> <p>(7) -2 水害と，佐原北部の人々の暮らし【せんたく】</p> <p>ひろげる 自然とともに生きる人々の暮らし</p>
5-3	2 未来を支える食料生産	
	1. 米づくりのさかんな地域	<p>(1) 米はどこから？</p> <p>(2) 米の産地は，どんなところ？</p> <p>(3) 一年間の米づくり</p> <p>(4) 安全でおいしい米をつくるために</p> <p>(5) よりよい米づくりをめざして</p> <p>(6) 生産を高めるために</p> <p>(7) おいしい米をとどける</p> <p>(8) 米づくりがかかえる課題</p> <p>(9) これからの米づくり</p> <p>まとめる</p>
5-4	2.-1 水産業のさかんな地域【せんたく】	<p>(1) さまざまな水産物を求めて</p> <p>(2) 北海道・根室のさんま漁</p>

		<ul style="list-style-type: none"> (3) 漁港で働く人々 (4) さんまを消費者のもとへ (5) 鹿児島県・長島のぶり養殖 (6) 水産業の変化と課題 (7) 世界の国々との関わりの中で (8) 持続可能な水産業をめざして <p>まとめる</p> <p>ひろげる 森は海の恋人</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.-2 野菜作りのさかんな地域【せんたく】 2.-3 岩手町のキャベツ作り【せんたく】 2.-4 果物作りのさかんな地域【せんたく】 2.-5 牛肉飼育のさかんな地域【せんたく】 <ul style="list-style-type: none"> 3. これからの食料生産 <ul style="list-style-type: none"> (1) 外国からも届く食料 (2) 食料の輸入がもたらすもの (3) 未来へのさまざまな取り組み <p>まとめる</p> <p>ひろげる 地域ならではの食料生産</p>
5-5	3	<p>未来をつくり出す工業生産</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 工業製品とわたしたちの暮らし <ul style="list-style-type: none"> 1.-1 自動車の生産にはげむ人々【せんたく】 <ul style="list-style-type: none"> (1) 変わってきた自動車 (2) 自動車生産のひみつをさぐろう (3) 大量に、むだなく、一つずつ (4) 大量生産を支えるくふう (5) 部品はどこから？ (6) 完成した自動車のゆくえ (7) 新たな機能を生み出す人たち (8) さまざまな願いに応える自動車づくり <p>まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.-2 製鉄にたずさわる人々【せんたく】 1.-3 石油の加工にたずさわる人々【せんたく】 <ul style="list-style-type: none"> 2. 日本の工業生産と貿易・運輸 <ul style="list-style-type: none"> (1) 自動車は世界へ (2) おもな輸出品と輸入品 (3) 国内の工業生産を支える貿易 (4) 貿易を支える輸送手段 <p>まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 3. 日本の工業生産の今と未来

		<ul style="list-style-type: none"> (1) さまざまな製品をつくり出す工業 (2) 工業のさかんな地域 (3) 大工場と中小工場のちがい (4) 日本工業生産の変化 (5) 増え続ける海外生産 (6) 国内生産が発展していくために (7) これからの工業とわたしたちの暮らし <p>まとめる</p> <p>ひろげる 工業や暮らしを支える資源・エネルギー</p>
5 - 6	<p>4 未来とつながる情報</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 身のまわりの情報 <p>1. -1 情報を伝える人々とわたしたち【せんたく】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 情報はどこから？ (2) 放送局がつくるニュース番組ができるまで (3) ニュースにかける思い (4) マスメディアとしての責任 (5) メディアの変化と、放送局の取り組み <p>まとめる</p> <p>1. -2 新聞社の働きとわたしたちの暮らし【せんたく】</p> <p>2. 暮らしと産業を変える情報通信技術【せんたく】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 暮らしの中に広がる情報通信技術（ICT） (2) 店で活用する情報通信技術 (3) 大量の情報を活かそうとする人たち (4) -1 観光に活かす情報通信技術 (5) これからの情報通信技術とわたしたちの暮らし <p>まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> (4) -2 健康な暮らしを支える情報通信技術【せんたく】 (4) -3 大量の情報を活かす運輸・流通の仕組み <p>【せんたく】</p> <p>ひろげる 情報通信技術の可能性</p>	
5 - 7	<p>5 国土の自然とともに生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 国土の自然がもたらすもの <p>1. 自然災害とともに生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 自然災害と国土の自然条件 (2) くり返す自然災害 (3) 大津波から暮らしを守るために (4) 大地震から暮らしを守るために (5) さまざまな自然災害から暮らしを守るために <p>まとめる</p>	

		<p>2. 森林とともに生きる</p> <p>(1) 日本の国土と森林</p> <p>(2) 森林を身近に感じる暮らし</p> <p>(3) 木を植えて育てる人々</p> <p>(4) 森林を守り続けるための新しい取り組み</p> <p>(5) 森林を守るためにできることは</p> <p>まとめる</p> <p>3. 環境をともに守る</p> <p>(1) 青い空と海を取りもどしたまち</p> <p>(2) 公害をなくすために</p> <p>(3) 環境首都をめざして</p> <p>(4) きれいな環境を、次の世代のために</p> <p>まとめる</p> <p>ひろげる 日本にある世界遺産</p> <p>5年生の学習をふり返ろう</p>
6年	6-1	<p>社会科の見方や考え方</p> <p>社会科の学習の進め方</p> <p>1 とともに生きる暮らしと政治</p> <p>(1) オリンピック・パラリンピックから学ぶ</p> <p>1. 憲法とわたしたちの暮らし</p> <p>(1) だれもが使いやすいまちに</p> <p>(2) 国のあり方を示す日本国憲法</p> <p>(3) 学習問題をつくり、調べる計画を立てよう</p> <p>(4) 国の主人公はわたしたち国民</p> <p>(5) すべての人が幸せに生きるために</p> <p>(6) 平和を守る</p> <p>(7) 国会のはたらき</p> <p>(8) 内閣のはたらき</p> <p>(9) 裁判所のはたらき</p> <p>(10) 税金のはたらき</p> <p>まとめる</p>
	6-2	<p>2.-1 わたしたちの暮らしを支える政治【せんたく】</p> <p>(1) わたしたちの暮らしと社会の課題</p> <p>(2) 人々の暮らしの願い</p> <p>(3) 子どもは未来への希望</p> <p>(4) 「おでかけひろば」ができるまで</p> <p>(5) たがいに助け合う社会</p> <p>(6) 社会の課題の解決とわたしたち</p> <p>まとめる</p>

		<p>つなげる 政治への参加について話し合おう</p> <p>2.-2 災害からわたしたちを守る政治【せんたく】</p> <p>(1) 突然の大地震と津波</p> <p>(2) 緊急の支援</p> <p>(3) 復興に向けて動き出す</p> <p>(4) 命を守るまちづくり</p> <p>2.-3 雪とともに生きる暮らしを支える政治【せんたく】</p> <p>(1) まちで暮らす人々の願い</p> <p>(2) 雪対策で暮らしが変わった</p> <p>(3) 雪を生かす</p> <p>ひろげる 政治のはたらきをまちの中からさがして 考えよう</p>
6-3	2	<p>日本の歴史</p> <p>(1) 人々の願いの今と昔 1</p> <p>(2) 人々の願いの今と昔 2</p> <p>歴史の学び方をナビゲーション!</p> <p>歴史年表</p> <p>日本列島歴史の旅に出かけよう</p> <p>1. 国づくりへの歩み</p> <p>(1) 大昔の暮らしをさぐるう 1</p> <p>(2) 大昔の暮らしをさぐるう 2</p> <p>(3) 学習問題をつくり, 学習の見通しを立てよう</p> <p>(4) 米づくりが始まる</p> <p>(5) むらからくにへ</p> <p>(6) 巨大古墳と大王</p> <p>(7) 古墳をつくった人々</p> <p>ひろげる 世界との関わり</p> <p>まとめる</p>
6-4	2.	<p>大陸に学んだ国づくり</p> <p>(1) 大陸にわたった人々</p> <p>(2) 聖徳太子の理想</p> <p>(3) 大化の改新と新しい政治のしくみ</p> <p>(4) 聖武天皇と大仏づくり</p> <p>(5) 海をこえた人やもの</p> <p>(6) 藤原道長と貴族の暮らし</p> <p>(7) 日本独自の文化が生まれる</p> <p>まとめる</p> <p>ひろげる 世界との関わり</p> <p>3. 武士の政治が始まる</p>

		<ul style="list-style-type: none"> (1) 武士が現れる (2) 源氏と平氏が戦う (3) 幕府を開いた源頼朝 (4) 元との戦い <p>まとめる</p> <p>ひろげる 文化財の継承を考えよう</p> <p>4. 室町文化と力をつける人々</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 室町時代に生まれた文化 (2) 簡素で静かな美しさ (3) 人々の暮らしの中から生まれた文化 (4) 産業の発達と力をつける人々 <p>まとめる</p> <p>歴史年表（飛鳥～室町時代）</p>
6 - 5		<p>5. 全国統一への動き</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 戦国の世の中 1 (2) 戦国の世の中 2 (3) 全国統一をめざした織田信長 (4) 全国を統一した豊臣秀吉 (5) 江戸幕府を開いた徳川家康 <p>まとめる</p> <p>ひろげる 世界との関わり</p> <p>6. 幕府の政治と人々の暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 江戸をめざす行列 (2) 江戸幕府と大名 (3) 人々の暮らしと身分 (4) 鎖国への道 (5) 鎖国のもとでの交流 <p>まとめる</p> <p>ひろげる 世界との関わり</p> <p>7. 新しい文化と学問</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 都市のにぎわいと人々の楽しみ (2) 活気あふれる町人の文化 (3) 文化を支えた産業と交通 (4) 新しい学問 (5) 人々と学問，新しい時代への動き <p>まとめる</p> <p>ひろげる 持続可能な社会を歴史から考えよう</p> <p>ひろげる 世の中の課題と政治のはたらきを歴史から考える</p> <p>歴史年表（戦国～江戸時代）</p>

6 - 6	<p>8. 明治の新しい国づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新しい世の中へ (2) 黒船が来た (3) 江戸幕府がたおれる (4) 新政府による国づくりの始まり (5) 欧米の国々に追いつけ (6) 人々の暮らしが変わった <p>まとめる</p> <p>ひろげる 世界との関わり</p> <p>9. 近代国家を目ざして</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ノルマントン号事件と条約改正 (2) 学習問題をつくり，調べる計画を立てよう (3) 自由民権運動が広まる (4) 国会が開かれる (5) 日清・日露の戦い (6) 日露戦争後の日本と世界 (7) 産業の発展と世界で活躍する人々 (8) 暮らしと社会の変化 <p>まとめる</p> <p>ひろげる 災害の歴史から考えよう</p> <p>ひろげる 視点を変えて考えよう</p> <p>歴史年表（江戸末～大正時代）</p>
6 - 7	<p>10. 戦争と人々の暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 戦火に焼けた日本 (2) 中国との戦争が始まる (3) アジア・太平洋に広がる戦争 (4) 戦争と人々の暮らし (5) 子どもたちと戦争 (6) おそいかかる空襲 (7) 沖縄・広島・長崎，そして敗戦 <p>まとめる</p> <p>ひろげる 戦争の時代を知ろう</p> <p>11. 平和で豊かな暮らしを目ざして</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 焼けあとのからの出発 1 (2) 焼けあとのからの出発 2 (3) もう戦争はしない (4) 日本の独立と東京オリンピック・パラリンピック

		<p>(5) 産業の発展と国民生活の変化 (6) これからの日本とわたしたち</p> <p>まとめる ひろげる 国際社会に果たす役割を考える つなげる 歴史を学ぶ意味を考えよう</p> <p>歴史年表（大正～）</p>
6 - 8	3	<p>世界の中の日本</p> <p>(1) 日本と世界</p> <p>1. 日本とつながりの深い国々</p> <p>(1) 日本とつながりのある国 (2) 文化で深くつながっている国 アメリカ 1 (3) 文化で深くつながっている国 アメリカ 2 (4) 経済でつながりの深い国 中国 1 (5) 経済でつながりの深い国 中国 2 (6) 日系人が多く住む国 ブラジル 1 (7) 日系人が多く住む国 ブラジル 2 (8) 豊かな石油資源をもつ国 サウジアラビア 1 (9) 豊かな石油資源をもつ国 サウジアラビア 2</p> <p>まとめる ひろげる おとなりの国 韓国</p> <p>2. 地球規模の課題の解決と国際協力</p> <p>(1) 世界で活躍する日本人 1 (2) 世界で活躍する日本人 2 (3) ユニセフのはたらき (4) 国際連合のはたらき (5) 地球の環境とともに生きる (6) よりよい社会をともにひらく</p> <p>まとめる 6年生の学習をふり返ろう</p>

(2) 各分冊の構成と順序

①各分冊の構成と順序は原則として次のとおりとする。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・表紙 ・目次 ・学びのてびきの目次（*各巻に掲載しているものの目次） ・「この教科書に登場するキャラクター」（*1巻のみ） ・本文等 ・奥付 |
|--|

- ②各巻の目次には、その巻に掲載する大単元名・中単元名・小単元名を記す。また、各学年の第1巻の目次には、他の分冊の巻数とそれぞれに掲載する大単元名および中単元名を記す。原典で、中単元や小単元のうち【せんたく】になっているものには、検索性の観点から必要に応じて連番を付けている。
- ③学びのてびきの目次には、その巻に掲載するものを記す。また、各学年の第1巻には、他の分冊の巻数とそれぞれに掲載する学びのてびきのタイトルを記す。
- ④「この教科書に登場するキャラクター」には、各学年の教科書に登場するキャラクターを列記する。（＊1巻のみ）
- ⑤本文等には、本文の他、この時間の問・キーワード・資料等を順に掲載する。具体的には後述の「(3) レイアウト」参照。ただし、学習の流れを考慮し、原典教科書の順序を変更する場合がある。
- ⑥奥付には、点字および墨字の元典に関する情報を掲載する。
- ⑦3・4年生の「この教科書に出てくる主な都道府県」，「キーワードの一覧」，5・6年生の「索引」は掲載しない。
- ⑧6-4～6-7には、6-3の年表のうち、その巻の該当部分のみ掲載する。

(3) レイアウト

全学年を通じ、原則としてレイアウトは次のとおりとする。

- ①大単元の題名を9マス目から記す。番号の後2マスあける。番号には記号を付さない。
- ②中単元の題名を7マス目から記す。番号は1. 2. …のようにピリオドをつける。
- ③小単元の題名を5マス目から記す。原典では番号が付されていないが、検索性を高めるため(1)(2)…のように第1カッコで数字を括って番号を付す。
- ④小単元は、原則として、小単元名，「この時間のとい」，「活動」，「本文と吹き出し」，「ノート」，「キーワード（6年生は「人物」を含めて）」，「解説」，「赤○」，「学びのてびき」，「やってみよう」，「資料」，「次につなげよう」の順に配置する。「みんなで作った学習問題」は小単元の流れに合わせて配置する。
- ⑤本文の前後は1行あける。
- ⑥本文中の会話部分及び吹き出しの箇所については、まとまりごとに前後を1行あける。3マス目から会話者の名前を記し、その後2マスあけて発言内容を第1カギで囲む。
- ⑦「ノート」（「黒板」も含めて），“調べること”，“調べ方”，“まとめ方”は、波線枠で囲んで記す。
- ⑧「この時間のとい」，“活動”，“キーワード”，“解説”，“やってみよう”，“次につなげよう”，“みんなで作った学習問題”は、5マスから書き、次の行の3マスからその内容を記す。前後を1行あける。
- ⑨「赤○」（6年生の資料記号のあるもの以外）は、点線枠で囲んで記す。
- ⑩「学びのてびき」は、改ページしてから二重線枠で囲んで記す。その際、上枠の5マ

スから「学びの手引きと書き、改行して7マスからタイトルを書く。

- ⑪参照ページを示す記述は削除する。
- ⑫「・〇〇〇」等の箇条書きについては、「1. 〇〇〇, 2. 〇〇〇, 3. 〇〇〇, ・
…」のようにピリオドを付けて番号を付す。下位項目がある場合は「ア. 〇〇〇,
イ. 〇〇〇, ウ. 〇〇〇, …」とする。さらに下位項目がある場合は「(ア) 〇〇
〇, (イ) 〇〇, (ウ) 〇〇, …」とする。
- ⑬記号のついた資料(表, グラフ, 地図, 写真, 絵等)は一重線の枠で囲み前後を1行
あける。上枠の線の5マス目から「ア. 写真」などのように資料記号と資料の種
類を記す。資料記号の後は1マスあけとする。資料のタイトルがある場合は次の行
の7マス目から記す。ただし, 写真や絵の場合は3マス目からとする。資料として
写真が連続する場合, 「ア. ・イ. 写真」, 「ア. ～ウ. 写真」のように, 一つ
の枠にまとめて掲載することがある。一つの資料番号に対して複数の図表や写真が
ある場合, (ア) ・ (イ) ・ (ウ) のように記号を付して記す。
- ⑭「まとめる」「ひろげる」「つなげる」は, 改ページしてから二重線枠で囲んで記す。
その際, 上枠の5マスから「まとめる」「ひろげる」「つなげる」と書き, 改行して
7マスからタイトルを書く。
- ⑮「まとめる」の構成と順序について, 学年ごとに統一する。
- ⑯本文中の太字は明示しない。
- ⑰小単元の終わりに終止線(②の点)を入れる。
- ⑱目次, 「この教科書に登場するキャラクター」, 「前の学年(生活科)を振り返ろ
う」, 「社会科の学習の進め方」, 「社会科の見方や考え方/他の教科とのかかわ
り」, 中単元, 巻末資料, 奥付等の終わりには, 終止線(②⑤の点)を入れる。
- ⑲原典の該当ページの番号は, 点字教科書のページ行に「メの字」で挟んで左側に記
す。その際, 原則として小単元ごとの見開きページの番号を記す。
- ⑳原典で記されている「選択・判断」は削除する。必要に応じて指導者による補足が必
要である。

(4) 位置を示したり「見る」ことを指示したりする表現

- ①「上(下)の～」や「右(左)の～」という原典の紙面上での位置を示す表現は, 「〇
〇ページの～」または「次の～」などのように点字教科書中の位置に合わせた表現
に修正する。
- ②原典において位置を示す表現がない場合でも, 点字教科書中で図やグラフ等の参照
ページを書き加えることが効果的な場合は本文に追加する。
- ③「見てみよう」等の表現は, 実際にできない活動であるため, 表現を修正している。

(5) 写真の取り扱い

- ①原典にある写真については削除し、タイトルのみでもできる限り掲載することを原則とする。写真の説明文がある場合は、小見出し符（⑥・③⑥の点）の後に記す。
- ②写真のタイトルや説明文を可能な限り生かして点字化する。ただし、原典教科書の表現では不足する視覚的情報等を補うために、適宜表現を修正することがある。
- ③写真の説明文が原典にない場合、必要に応じて新たな説明文を追加することがある。
- ④写真が複数ある場合は、「(ア) ○○○, (イ) ○○○, (ウ) ○○○, …」のように記号を付す。
- ⑤原典教科書の表紙等にある写真については削除する。

(6) 絵の取り扱い

- ①原典にある絵については、基本的に削除する。ただし、単元の学習を進める上で参考になるものについては、絵のタイトルを記し、小見出し符（⑥・③⑥の点）の後に絵の説明文を記す。
- ②絵のタイトルや説明文を可能な限り生かして点字化する。ただし、原典の表現では不足する視覚的情報等を補うために、必要に応じて表現を修正することがある。
- ③絵の説明文が原典にない場合、必要に応じて新たな説明文を追加することがある。
- ④絵が複数ある場合は、「(ア) ○○○, (イ) ○○○, (ウ) ○○○, …」のように記号を付す。

(7) グラフの取り扱い

- ①原典にあるグラフについては、点図化、数表化、数表と点図の併記を行うか、削除する。
- ②点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。ただし、原則として、円グラフ・帯グラフは数表化する。
- ③原則としてグラフの説明や凡例を先に記し、次にグラフを示す。グラフの説明や凡例のみを枠囲みする。
- ④グラフの説明や凡例を左ページに、グラフを右ページに配置し、できるだけ見開きとなるようにする。
- ⑤紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にしてグラフを掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。また、左右2ページに見開きで示すこともある。その場合、左ページの左上に（見開き）と記す。
- ⑥棒グラフでは、原典教科書では縦棒になっているものを点図では横棒にするなどの修正を行う場合がある。
- ⑦グラフ中の項目はできるだけ省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑧グラフの数値の読み取りを容易にするための目盛り線を凹点で表す。
- ⑨グラフを数表化する場合、枠囲みに記す資料の種類を表に修正し、表（グラフ）のよ

うに原典教科書の資料の種類をかつこ内に記す。同様に、数表と点図の併記にする場合、枠囲みに示す属性を表・グラフ（グラフ）のようにする。

(8) 地図の取り扱い

- ①原典教科書にある地図は、点図またはサーモフォームによる触図化、数表化、数評価と文章化の併記、文章化の処理を行うか、削除する。
- ②触図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③触図は原則として点図とするが、地形の高低差を表す必要がある場合は、サーモフォームによる触図化を行う場合がある。
- ④原則として図の説明や凡例を先に記述し、次に地図を示す。図の説明や凡例のみを枠囲みする。
- ⑤図の説明と地図ができるだけ見開きとなるようにする。
- ⑥紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にして地図を掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。また、左右2ページに見開きで示すこともある。その場合、左ページの左上に（見開き）と記す。
- ⑦地図の範囲を表すため原則として各地図に枠を付ける。
- ⑧地図中の地名等はできるだけ省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑨陸地と海の区別を容易にするため、地図中の海を原則として凹点で表す。
- ⑩地図中の縮尺表示は、地図の意図する位置関係に主眼を置くため省略する。
- ⑪触図化の際の技術的な限界や、触覚的理解の困難さを考慮し、図の簡略化やデフォルメを行う場合がある。
- ⑫原典教科書の地図を点図等にする際、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、学習内容の焦点化、全体的な点図の枚数等を総合的に判断して行った結果、島々を省略した箇所がある。備考欄にその旨を記載してあるので、指導に当たっては備考欄を参照して口頭で補足するなどの配慮をする。

(9) 図の取り扱い

- ①原典教科書にある図は、点図による触図化、数表化、文章化の処理を行うか、削除する。
- ②触図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③触図の説明や凡例がある場合は、原則として先に説明や凡例を記述し、次に触図を示す。図の説明や凡例のみを枠囲みする。簡易な図の場合は、説明や凡例がないこともある。
- ④説明と触図ができるだけ見開きとなるようにする。
- ⑤面の限界から、ページを縦長ではなく横長にして触図を掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。また、左右2ページに見開きで示すことも

ある。その場合、左ページの左上に（見開き）と記す。

- ⑥触図の範囲を表す枠線を必要に応じて付ける。
- ⑦触図中の名称等はできるだけ省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑧触図化の際の技術的な限界や、触覚的理解の困難さを考慮し、図の簡略化やデフォルメを行う場合がある。

(10) 「学びのてびき」の取り扱い

「学びのてびき」は、①原典に即して点字化しもの、②視覚障害に配慮して一部変更したもの、③視覚障害がある場合には内容の理解が困難であるため削除したものまたは紹介にとどめたものがある。（「学びのてびき」の各項目参照）

(11) 「2. 編集の具体的内容」の備考欄における記載事項

- ①触覚による把握：触覚によって理解することが可能なグラフ、地図、図について、点図やサーモフォームによる図を掲載する。
- ②理解のしやすさ：点図化が困難なため削除した写真、絵、図、グラフについて、児童の理解を促すため文章化や数表化して掲載する。
- ③指導者による補足：写真、絵、図、グラフを削除した場合は、指導者による補足説明を授業の中で行うことが望ましい。

2 編集の具体的内容

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
3年	2～3	絵	削除	まちのようすの絵を削除した。	児童の経験から発表できるようにするなど配慮する。
	7	次につなげよう	修正	「次につなげよう」の最後の一文を次のように変更した。 学校のまわりを、高い所から、調べてみよう	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	8	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 2. 高い所から、まちを調べてみよう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	9	学びのてびき	修正追加	方位を示すイラストは簡略化して点図化した。「方位じしん」のイラストを削除し、次のような説明を追加した。 視覚障害者が使いやすいものとして、「視覚障害者用方位磁石」や「音声方位計」があります。 視覚障害者用方位磁石は、手のひらに入るくらいの四角い箱の中に磁石が入ったものです。使うときは、まず、平らなところでふたをしてそのまましばらく待ちます。磁石の方向が定まったら、ふたをゆっくり開けて、中をそっと触ります。線の先が北をさしています。また、ちょうつがいの近くにある目印からすぐ手前の目盛りや文字を読み取ると、自分が今向いている方向が分かります。 音声方位計は、音声で方位が分かります。知りたい方向に音声方位計を向けたままボタンを押すと方位を知らせてくれます。	触覚による把握 児童が扱いやすいものについて紹介した。

3年	10	地図	削除 追加	資料ア「たんけんする二つのコース」の地図を削除して、次の文を追加した。 あおいさんたちは、中山駅を通る「駅のまわりコース」、お寺の近くや鶴見川のそばを通る「土地の高い所とひくい所コース」の、二つのコースをたんけんすることに決めました。	理解のしやすさ
	11	学習 計画	修正	「調べ方」の一部を次のように変更した。また、白地図について簡単な説明を加えた。 イ. 白地図でコースを確かめる。 ウ. 気づいたことを写真にとったり、カードに書いたりする。 オ. 地図にまとめる。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。 白地図を提示する場合は、学習段階を考慮してできるだけ単純化する必要がある。
	12	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 2. 気づいたことを、カードに書こう。 3. みんなで気付いたことを地図にまとめてみよう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	13	地図	修正	資料カ「わかったことをまとめた絵地図」は「わかったことをまとめた地図」とし、単純化して点図化した。学校の位置が分かりやすいように、地図の説明の中に「学校は地図の南東にあります。」という一文を加えた。	触覚による把握 八方位についてはこの時点では未習であるため、補足する必要がある。
	14	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 2. 気づいたことを、カードに書こう。 3. みんなで気付いたことを地図にまとめてみよう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。

3年	15	地図	修正	資料キ「わかったことをまとめた絵地図」は「わかったことをまとめた地図」とし、単純化して点図化した。学校の位置が分かりやすいように、地図の説明の中に「学校は地図の西側にあります。」という一文を加えた。	触覚による把握
	16	小単元名	修正	小単元名を次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> まちな様子をこうもくごとにまとめよう </div>	理解のしやすさ
	16	地図	修正	資料ア「つなげた絵地図」は「つなげた地図」とし、単純化して点図化した。これまでの二つの地図をつなげて縮小した地図になるので、再掲するものを精選した。学校の位置が分かりやすいように、地図の説明の中に「学校は地図の真ん中あたりにあります。」という一文を加えた。	触覚による把握
	17	本文	修正	本文の最後の一文を次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 終わりに、たんけんした二つのコースについて、わかったことをこうもくごとにまとめ、くらべてみました。 </div>	理解のしやすさ
	17	表	修正	本文の次の表は、「わかったこと」と見出しを付けて項目ごとにまとめた。	理解のしやすさ
	18	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 1. 空からさつえいした写真に何がうつっているか調べよう。 </div>	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。 児童の経験から発表できるようにするなど配慮する。
	20	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 3. 市の形を、たどってたしかめよう。 </div>	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。

3年	20	地図	修正	資料ア「わたしたちの県の市町村」は範囲を神奈川県のみとして、情報量を減らして点図化した。	触覚による把握
	21	本文	修正	最初の一文を次のように変更した。 次に、あおいさんたちは、市の広がりや市全体の形について、白地図をたどってたしかめました。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	21	学びのてびき	修正	タイトルを「市の広がりを、白地図をたどってたしかめる」とし、次のように変更した。 1. 点図や立体コピー、厚紙などの市の形をなぞる。 2. 形をおぼえてきたら、レーザーライターで白地図をかく。	理解のしやすさ 児童の興味・関心に応じてレーザーライターでかくことも考えられるが、形をとらえることが大切である。
	21	学びのてびき	修正	八方位を示す図は点図化した。	触覚による把握
	22	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 1. 市のいくつかの場所がわかる写真に何が写っているか調べよう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	23	学習計画	修正	「調べ方」の一部を次のように変更した。 イ. 地図や写真を調べる。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	25	地図	修正	資料イ「市役所の人に見せてもらった土地の使われ方の地図」は「店の多い所」「田・畑・緑の多い所」「工場の多い所」の3種類に絞って点図化した。	触覚による把握
	26	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 2. 地図を読んで、市役所のまわりを調べよう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	26	本文	修正	最初の一文を次のように変更した。 ゆうまさんたちは、市役所のまわりを歩いたり、地図を読んだりして、市役所のまわりの様子を調べました。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。

3年	27	本文	修正	<p>あおいのセリフを次のように変更した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「地図だと市役所はどこにあるのかな。さがしてみよう。」</p> </div>	点図化した地図においては、墨字の地図記号を用いないことも多く、凡例を確認する必要がある。
	27	地図	修正	資料イ「市役所のまわりの地図」は単純化して点図化した。	触覚による把握
	28	活動	修正	<p>「活動」の一部を次のように変更した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 写真から、横浜駅のまわりの様子を調べよう</p> </div>	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	29	地図	修正	資料イ「横浜市の主な鉄道と道路」は「横浜市の主な鉄道」とし、「JR」に絞って点図化した。	触覚による把握
	30	活動	修正	<p>「活動」の一部を次のように変更した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 地図で、海に面した所を調べよう。</p> </div>	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	31	地図	修正	資料イ「鶴見川の河口のまわりの地図」は単純化して点図化した。	触覚による把握
	31	地図	修正	資料ウ「横浜市の土地の高さの様子」は単純化し、サーモフォームを用いて土地の高さを2段階で表した。	触覚による把握
	32	活動	修正	<p>「活動」の一部を次のように変更した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 緑の多い場所をさがしてみよう。 2. 緑が多い場所を地図でたしかめよう。</p> </div>	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	32	本文	修正	<p>最初の一文を次のように変更した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ゆうまさんたちは、緑の多い所について、市役所の人にきいたり、資料を調べたりしました。</p> </div>	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。

3年	32	本文	修正	最後の一文を次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ゆうまさんたちは、市内の緑の多い所を一つ一つ地図にまとめて、その広がりをつかめました。</p> </div>	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	33	地図	削除 追加	資料イ「『金沢市民の森』あたりの地図」を削除して次の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>金沢文庫駅の西の方には、次のような緑地が広がっています。</p> <p>市民の森 — 金沢市民の森、釜利谷市民の森、氷取澤市民の森、瀬上市民の森</p> <p>その他の緑地 — 金沢動物園、金沢自然公園、能御堂緑地</p> </div>	理解のしやすさ
	33	地図	修正	資料エ「ゆうまさんがまとめた緑の多い所」は単純化して点図化した。	触覚による把握
	34	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 地図を読み取ろう。</p> </div>	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	35	地図	修正	資料エ「港北ニュータウンのあたりの地図」は「家が集まっている所」に絞って点図化した。	触覚による把握
	37	地図	修正	資料イ「ひろとさんがまとめた古いたてもみや古いまちなみのある所」は単純化して点図化した。	触覚による把握
	38	学びの てびき	修正	四つ目の項目は削除し、内容を次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 点図や立体コピー、厚紙などで市の形を準備する。</p> <p>2. 写真があれば、かんれんさせてはる。</p> <p>3. 調べた場所の様子を、短い文で書き入れる。</p> </div>	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	39	地図	修正	資料キ「みんなでまとめた市の土地の様子」は単純化して点図化した。	触覚による把握
	40	資料	修正	資料ア「主な地図記号と、もともなったもの」の地図記号は、学校、神社、郵便局、消防署のみを点図化する。	触覚による把握

3年	40	資料	削除	資料イ「ゆうびん局を表す地図記号のうつりかわり」の図は削除した。	指導者による補足
	40	図	修正	資料ウ「外国人向けのゆうびん局を表す地図記号」は点図化し、封筒の形であることの説明を加えた。	触覚による把握
	41	地図	修正	資料ア「昔と今の地図（東京都新宿区）」は単純化して点図化した。	触覚による把握
	45	カード	修正	資料エ・オの「買い物カード」は、表ではなく、項目ごとにまとめた。	理解のしやすさ
	46	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 2. 買い物をした店の場所をたしかめよう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	46	地図	削除 追加	資料ア「みんなでまとめた買い物地図」を削除して、次の説明を追加した。 駅のまわりにある店 - スーパーマーケット② 魚屋さん、八百屋さん② 駅から少しはなれたところにある店 - スーパーマーケット①、八百屋さん①、コンビニエンスストア①、コンビニエンスストア②、スーパーマーケット④ 自転車や車に乗っていった店 - スーパーマーケット③、その他の店	理解のしやすさ
47	学びの てびき	修正	「表をつくる」の一部を次のように変更し、「正」の字で表されているところは「へ」の字を用いた表し方に変更した。 3. どの店に、何人行ったのかを「へ」を使って数える。 ①の点 1 ①②の点 2 ①②③の点 3 ①②③④の点 4 ①②③④⑥の点 5 4. 数えた数字を書き入れる。	算数の学習との関連を図る。	

3年	47	学びの てびき	修正	「グラフをつくってくらべる」の一部を次のように変更し、グラフを点図化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2. 行った人の数が多い順に店の名前を書く。</p> <p>3. いちばん多い人数のシールがはれるようにマスを用意する。単位「(人)」も書く。</p> <p>4. マスに合わせてシールをはる。</p> </div>	算数の学習との関連を図る。
	48	資料	修正	資料イ「レシート」については、品名の前にある数字等を削除し、必要な情報が読み取りやすくなるようにした。	理解のしやすさ
	49	図	削除	「レジ係の小野寺さんの話」にある図は削除した。	指導者による補足
3年	50	学習計画	修正	「気をつけること」の二つ目を次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>商品に勝手にさわらない。</p> </div>	触って学習する必要があることを踏まえ、触るときのマナー等について指導するとよい。
	51	絵	修正 追加	スーパーマーケットのようすの絵を単純化して点図化し、次の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>たくさんのお客さんが、かごを持ったりカートをおしたりしています。レジにならんでいる人、買った品物を袋に入れている人もいます。</p> <p>お店の人は、品物をならべる人、レジを打つ人のほか、売り場のおくにある部屋で仕事をしている人もいます。</p> </div>	触覚による把握
	52	写真	追加	資料ア「見学したスーパーマーケット」の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>三階建ての建物で、一階は駐車場のスペースになっています。駐車場は建物の外にもあり、たくさん車がとまっています。</p> </div>	理解のしやすさ

3年	52	地図	削除 追加	資料イ「スーパーマーケットの場所」の地図を削除して、次の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>ひろとさんたちが見学したスーパーマーケットは、わたしたちの学校から北東へ約2km離れたところにあります。</p> </div>	理解のしやすさ
	53	写真	追加	資料セ「補助犬といっしょに店に入れることを表すマーク」の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>「当店では補助犬を伴ってご来店いただけます。ペットの持ち込みはご遠慮ください。」と書かれています。</p> </div>	理解のしやすさ
	54	絵	削除 修正	資料イ「時間べつのレジ係の人数」の絵を削除して、時刻とレジ係の人数を表で示した。	理解のしやすさ
	55	写真	修正	「商品をならべる人」の説明を次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>商品は、お客様が見て分かりやすいように、正面に向けてならべます。コーナーごとにならべ、ほしい物がすぐに手に取れるようにしています。</p> </div>	理解のしやすさ
	56	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>2. 商品の産地を地図で確かめよう。</p> </div>	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	56	写真	追加	資料ア「産地名が書かれたカード」の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>オレンジの札に「オーストラリア産」、グレープフルーツ(赤)の札に「南アフリカ産」と書かれています。</p> </div>	理解のしやすさ
	56	写真	追加	資料イ「広告のちらし」の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>ちらしにはどんなことが書いてあるでしょうか。ちらしはどんなふうにくばられているでしょうか。</p> </div>	ちらしに書かれていることを家の人に聞いて調べるなどの活動も考えられる。

3年	57	地図	削除 修正	資料エ「国内から仕入れた野菜の産地」の地図を削除して、産地と野菜を表で示した。	理解のしやすさ
	57	地図	削除 修正	資料オ「外国から仕入れた食品の産地」の地図を削除して、仕入れ先と食品を表で示した。	理解のしやすさ
	57	吹き出し	追加	女性の先生の吹き出しの最初に次の文を追加した。 国を表すときに国旗を用いることがあります。	理解のしやすさ
	57	図	修正	日本とイタリアの国旗を点図化した。	触覚による把握
	59	写真	追加	資料カ「有料レジぶくろのカード」の説明を追加した。 レジぶくろが必要な場合は、このカードを提示します。カードに「レジぶくろ買います 1まい 2円（税込）」と書かれています。	理解のしやすさ
	60 ～61	学びの てびき	修正	内容の一部を次のように変更した。 1. カードに、「お客様のねがい」と「店のくふう」を短い言葉で書く。 2. 書いたカードを台紙にはり、かんけいするカードを近くによせたり、線でつなげたりする	点字の読み書きの特性を考慮して活動を変更する必要がある。図ではなく、文章でまとめることも考えられる。
	61	黒板	修正	かんけい図を点図化した。わかったことについては文章化した。	触覚による把握
	65	グラフ	修正	資料オ「1年間で、しゅうまいに使うお金」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	66	学習計画	修正	「見学で注意すること」の一つ目を次のように変更した。 きかいや商品には、勝手にさわらない。	触って学習する必要があることを踏まえ、触る時のマナー等について指導するとよい。

3年	67	地図	削除 追加	資料ア「しゅうまい工場の場所」の地図を削除して、次の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ひろとさんたちが見学するしゅうまい工場は、わたしたちの学校から東へ約6 km離れたところにあります。</p> </div>	理解のしやすさ
	67	地図	削除 修正	資料ウ「横浜市の主な工場」の地図を削除して、区名と工場を表で示した。	理解のしやすさ
	69	学びの てびき	削除	三つ目の項目は削除した。	許可を得た上で録音するという方法も考えられる。
	73	地図	削除 追加	資料ア「はたらく人はどこから」の地図を削除して、次の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>はたらく人は、電車、バス、車、自転車などで工場にきています。横浜市内からだけでなく、となりの市や東京都から来る人もいます。</p> </div>	理解のしやすさ
	73	図	修正	資料イ「仕事べつのはたらく時間のちがひ」の図の内容を文章化した。	理解のしやすさ
	74	地図	削除 追加	資料ア「しゅうまいの店がある場所」の地図を削除して、次の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>直営店は横浜市だけでなく、東京都、埼玉県、千葉県などにもあります。直営店は、横浜駅に15か所、新横浜駅に3か所、川崎駅に5か所、新宿駅に5か所、池袋駅に4か所あります。</p> </div>	理解のしやすさ
	74	地図	削除 追加	資料ウ「工場がある場所と高速道路」の地図を削除して、次の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>高速道路がしゅうまい工場のそばを通っています。工場の近くに港北インターチェンジがあります。</p> </div>	理解のしやすさ
	75	地図	削除 修正	資料カ「国内の原料の仕入れ先」の地図を削除して、原料と仕入れ先を表で示した。	理解のしやすさ

3年	75	地図	削除 修正	資料キ「外国の原料の仕入れ先」の地図を削除して、仕入れ先と原料を表で示した。	理解のしやすさ
	77	ノート	修正	「さくらさんのノート」は、関係図ではなく項目別にまとめた。	理解のしやすさ
	78	写真	追加	資料ア「スーパーマーケットの野菜売り場」の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>売り場に「熱意いっぱいの生産者の皆さんがお届けします！ J A横浜販売所 地場野菜」と書かれた表示があります。</p> </div>	理解のしやすさ
	81	地図	削除 修正	資料ア「横浜市でつくられているおもな作物」の地図を削除して、区名と作物を表で示した。	理解のしやすさ
	81	絵	追加	資料ウ「はま菜ちゃん」がマスコットキャラクターであることの説明を追加した。	理解のしやすさ
	83	地図	削除 追加	資料ケ「加藤さんの畑のある場所」の地図を削除して、次の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>加藤さんの畑は、わたしたちの学校から北東へ約4km離れたところにあります。</p> </div>	理解のしやすさ
	84	絵	削除 追加	「上手に育てるくふう」の絵を削除し、次の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>害虫がつくと、こまつなが売れません。農薬を使うと害虫をやっつけることはできますが、人にもよくないのです。</p> </div>	理解のしやすさ
	84～85	図	修正	資料ア「ゆうまさんがまとめた、加藤さんの作物カレンダー」の図の内容を表で示した。	理解のしやすさ
	85	図	修正	「加藤さんのたいひづくり」の図の内容を文章化した。	理解のしやすさ

3年	85	絵	削除 追加	資料ウ「たいひのはたらき」の絵を削除し、次の説明を追加した。 たいひを土にまぜることで、たくさんのえいようが根からとりこまれます。さまざまなえいようによって元気に育ちます。	理解のしやすさ
	87	地図	削除 追加	資料ア「こまつなの行先」の地図を削除し、次の説明を追加した。 加藤さんの畑でとれたこまつなは、市の青果市場や直売所に出荷されます。市の青果市場から、横浜市内のお店、神奈川県以外の市のお店、東京都のお店に運ばれます。こまつなのたねは、アメリカやオーストラリア、大韓民国から運ばれています。	理解のしやすさ
	89	ノート	修正	「ゆうまさんのノート」は、関係図ではなく項目別にまとめた。	理解のしやすさ
	91	資料	修正	資料ア「こうたさんのちらし」の絵や地図は削除し、項目別にまとめた。	理解のしやすさ
	92	絵	削除 追加	見開きの絵を削除し、次のような説明文を追加した。 5階建てビルの4階で火事が起こり、ほのおが窓から飛び出しています。消防車が何台もかけつけ、ポンプ車のホースからすごいいきおいで水を出し、火を消しています。はしご車は、ビルの屋上まではしごを伸ばし、火が燃え移らないように隣のビルに水をかけています。歩道には、火事の様子を見守る人達があります。警察官は、火事の現場に人や車が近付かないよう交通整理をしています。救急車は、けが人を病院に運んでいます。ヘリコプターが空からそれらの様子を見ています。	理解のしやすさ
93	学びの てびき	修正	学びのてびき①「イラストを見て」を「イラストの説明を読んで」に修正した。	理解のしやすさ	

3年	95	地図	修正	資料イ「横浜市の消防署・消防出張所のある場所」の地図は簡略化して点図化した。	触覚による理解 理解のしやすさ
	98	14行	修正	あおいさんのセリフは資料ウの後に入れた。	理解のしやすさ
	99	写真	追加	「防火服のひみつ」で、「中に鉄板が入っていて」の前に「靴の」を、「まん中の出っぱりが」の前に「ヘルメットの」を追加した。	理解のしやすさ
		絵	修正	資料オ「消防自動車の仕組み」は絵を削除し、次の説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ポンプ車には、はしご、ホース、空気ボンベ、ポンプ、放水口、取水用ホース、ホースカーなどの装備があります。 </div>	理解のしやすさ
	写真	修正	資料カ「出勤までの1分間」は写真を削除し、次の説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ① 0秒 出動指令をきく ② 30秒 すばやく防火服を着る ③ 45秒 場所をたしかめる ④ 60秒 消防自動車が出動！ </div>	理解のしやすさ	
100	図	修正	見開き「119番のしくみ」を次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「火事です。〇〇町です。」119番への電話で通信指令室に火事の発生が伝えられます。 通信指令室から 消防しょへ…〇〇町で火事です。出動してください。現場にけが人もいます。救急車も出動してください。 他の消防しょへ…大きな火事です。応援をお願いします。 </div>	理解のしやすさ	

3年			<p>消防団へ…〇〇町です。けむりが見えますか。</p> <p>警察署へ…交通整理をお願いします。</p> <p>病院へ…けが人がいます。受け入れをお願いします。</p> <p>放送局へ…きけんを呼び掛けてください</p> <p>市役所へ… ※教科書会社へリクエスト中</p> <p>電力会社へ…電線が切れています。</p> <p>ガス会社へ…現場のガスが切れています。</p> <p>水道局へ…現場の水圧を上げてください。</p>	
101	学びの てびき	修正	「学びのてびき」①「連絡先をなぞる」を、「確認する」に変更した。	理解のしやすさ
103	表	修正	資料キ「消防署で働く人の仕事の時間割」を点図化した。	触覚による理解 理解のしやすさ
105	絵	修正	資料キ「学校の消防設備のある場所」を1・2回に省略して点図化した。	触覚による理解 理解のしやすさ
106	地図	修正	資料エ「あおいさんたちがまとめたまちの消防施設」を簡略化して点図化した。	触覚による理解 理解のしやすさ
108	黒板	修正	<p>「火事からまちを守るしくみの関係図」とタイトルをつけ、次のように文章化した。</p> <p>火事を防ぐという目的のために、消防署、私たちの学校、私たち、地域の人々は様々な取り組みを行っている。</p> <p>消防署…</p> <ul style="list-style-type: none"> ア. 消防自動車や道具の点検 イ. 消火や救助の訓練 ウ. 通信指令室からの連絡 エ. 24時間のそなえ オ. 他の消防署との協力 <p>また、病院・警察署・ガス会社・水道局・電力会社・放送局・市役所・学校と協力し合っている。</p>	理解のしやすさ

3年			<p>わたしたちの学校…</p> <p>ア. 防火設備を整えておくこと。</p> <p>イ. 避難訓練を行う</p> <p>私たち…</p> <p>ア. 火災けいほうき</p> <p>イ. 自分の身を守る心がけ</p> <p>地域の人々…</p> <p>ア. 消防団の取り組み</p> <p>イ. 火事を消防署に知らせる</p> <p>ウ. 避難訓練を行う</p> <p>エ. 防火をよびかける</p> <p>☆消防署は、警察署や病院などの他に、消防団など地域の人々と、お互いに協力して火事に備えたり、火事を起こさないようにしたりしている。</p>	
113	グラフ	修正	資料イ「市の交通事故の件数のうつりかわり」・資料ウ「交通事故でなくなった人の時間べつの人数」のグラフはそのまま点図化した。	触覚による把握
117	資料	修正	<p>資料イ「110番の連絡のしくみ」を次のように文章化した。</p> <div data-bbox="555 1227 1102 1541" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>交通事故の現場から110番通報すると、県の警察本部にある通信指令室につながります。事件か事故かを確認した通信指令室から、事故現場近くの警察署、パトロールカー、白バイ、消防署、交通管制センターに連絡がまわります。そして、それぞれの場所から出動し、事故現場に向かいます。</p> </div>	理解のしやすさ
119	写真	修正	資料エ～ケの写真はタイトルの後に時間を入れて処理をした。そのあと、「資料エ・カ・クは警察署の仕事、資料オ・キ・ケは交番の仕事です」という文を追加した。	理解のしやすさ

3年	124	黒板	修正	<p>「事故や事件からまちを守るしくみ」というタイトルのあとに次のように文章化した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事故や事件にかけつけるために、警察署や消防署、病院は24時間の備えをし、いつでも出動できるようにしている。</p> <p>また、事故や事件を防ぐために、警察署、市役所、わたしたちの学校、自治会、地域の人々・商店街は、協力して取り組んでいる。</p> <p>警察署…</p> <p>ア. 道あんないなど、くらしの安全を守る仕事</p> <p>イ. 事故や事件を起こさないための取りしまり</p> <p>市役所…放送で防犯をよびかける</p> <p>わたしたちの学校…</p> <p>ア. 交通安全の教室</p> <p>イ. PTAによる見守り</p> <p>ウ. 防犯訓練</p> <p>自治会…</p> <p>ア. 子ども見守り隊</p> <p>イ. 防犯パトロール</p> <p>ウ. 放送で防犯を呼び掛ける</p> <p>地域の人々・商店街…</p> <p>ア. 警察へ通報する</p> <p>イ. 子ども110番の家</p> <p>ウ. 防犯カメラを備えつける</p> <p>☆警察署は、1日24時間、事故や事件に備えて仕事をしている。また、消防署や市役所の他に自治会や商店街などの様々な立場の人たちと協力して事故や事件をふせぐとくみをしている。</p> </div>	理解のしやすさ
	125	地図	修正	資料ア「ひろとさんたちがつくった安全マップ」は、簡略化して点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	126	吹き出し	修正	<p>ひろとの吹き出しを次のように修正した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「昔のまちの様子と今のまちの様子では、どんなちがいがあるかな。」</p> </div>	原典教科書では絵を比べてちがいを見つける活動となっているが、児童の経験から発表できるようにするなど配慮する。

3年	129	写真	修正	資料イ「学校の郷土資料室で道具をかんさつする」の説明を追加した。 子どもたちが、かま、湯たんぼ、七輪、せんたく板をかんさつしています。	理解のしやすさ
	131	学びのてびき	修正	内容の一部を次のように変更した。 1. 道具をかんさつする。	道具を触って気付いたことをメモするといった活動も考えられる。
	132	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 3. 昔の道具について、カードにまとめよう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	136	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 1. ちがいのわかりやすい道具をえらぶ。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	138	本文	修正	さくらのセリフを次のように変更した。 「年表のはじめの方に古い道具を、終わりの方に新しい道具を、ならべていくといいね。」	カードを時代順に並べて綴じるなどの活動も考えられる。年表を点字で書く場合は上から下へ順に書く。
	140	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 1. 昔の駅の様子について、さつえいした写真から調べよう。 2. 今の駅の様子について、さつえいした写真から調べよう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	143	学習計画	修正	「まとめ方」の一部を次のように変更した。 ア. カードにまとめる。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。

3年	143	地図	修正 追加	資料イ「横浜市の広がり」の「1889年の広がり」「1937年の広がり」「現在の広がり」の境界に絞って1枚の地図に点図化し、次の文を追加した。 1939年には、ほぼ現在の横浜市の大きさになりました。	触覚による把握
	144	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 3. 調べたことを、カードにまとめよう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	145	本文	修正	本文の最後の一文を次のように変更した。 ゆうまさんたちは、調べたことをカードにまとめました。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	145	地図	修正	資料イ「昔と今の横浜市の主な鉄道と道路」は「昔と今の横浜市の主な鉄道」とし、「JR・国鉄」「路面電車」「横浜市営地下鉄」に絞って点図化した。	触覚による把握
	145	カード	修正	資料ウ「ゆうまさんの絵カード」を「ゆうまさんのカード」とした。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	146	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 3. 調べたことを、カードにまとめよう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	147	本文	修正	最初の一文を次のように変更した。 次に、昔と今の緑の広がりが見える地図や、土地の使われ方がわかる表を調べてみました。	グラフを表に変更したため、本文での表記も合わせた。
	147	地図	修正	資料イ「昔と今の緑の広がり」の地図は単純化して点図化した。	触覚による把握
	147	グラフ	修正	資料ウ「昔と今の土地の使われ方」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ

3年	147	カード	修正	資料エ「ゆうまさんの絵カード」を「ゆうまさんのカード」とした。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	148	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 3. 調べたことを，カードにまとめよう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	149	グラフ	修正	資料イ「横浜市の人口のうつりかわり」のグラフを点図化した。	触覚による把握
	149	カード	修正	資料ウ「ゆうまさんの絵カード」を「ゆうまさんのカード」とした。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	150	活動	修正	「活動」の一部を次のように変更した。 3. 調べたことを，カードにまとめよう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	151	本文	修正	最初の一文を次のように変更した。 次に，地いきケアプラザの数がわかる表や，お年寄りの人数がわかる表を調べました。	地図やグラフを表に変更したため，本文での表記も合わせた。
	151	地図	削除 修正	資料イ「昔と今の地いきケアプラザの場所」の地図を削除して，区名と地いきケアプラザの数を表で示した。	理解のしやすさ
	151	グラフ	修正	資料ウ「子どもとお年寄りの人口のうつりかわり」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	151	カード	修正	資料エ「ゆうまさんの絵カード」を「ゆうまさんのカード」とした。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	153	学びの てびき	修正	内容の一部を次のように変更した。 1. 前の学習でつくった年表に，「市の様子」の項目をくわえる。 2. つくったカードを，あてはまる時期にはる。	カードを時代順に並べて綴じるなどの活動も考えられる。
154	黒板	修正	関係図の内容を項目別にまとめた。	理解のしやすさ	

3年	161	説明	修正	電話のかけ方の説明にある「えんぴつ」を「筆記用具」に変更した。	メモの取り方について、 国語の学習との関連を図る。
	161	説明	修正	手紙の送り方の二つめの説明を「返信用のふうとうにも切手をはり、自分たちの学校の住所を書いておく。」に変更した。	封筒の絵を削除したため。
	163	説明	修正	インターネットの調べ方の「けんさくページの使い方」の一つめの説明を次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>知りたい言葉（例えば「横浜市 こまつな」）をいれて「けんさく」ボタンのところでエンターキーをおすと、かかわりのあるウェブサイトをさがし出してくれる。</p> </div>	理解のしやすさ
	165	説明	修正	見出しの強調の仕方について次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「…」などで見出しやキーワードをかこんで目立たせる。</p> </div>	理解のしやすさ
	166	地図	削除	地図帳の地図は削除した。	指導者による補足
	167	本文	修正	「さくいんの使い方」に関する内容は、さくいんの一部や図を削除し、次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>さくら「テレビで『枚方市』という場所が出てきたけれど、どこにあるのかな？」 ゆうま「さくいんを使うと、おおまかな場所がわかって、見つけやすいよ。」 墨字の地図帳にはさくいんのページがある。さくいんのページには、地名を、あいうえお順にならべてある。「ひらかたし」を調べるには、「ひ」から始まる見出し語を順にさがす。</p> </div>	指導者による補足
	167	学びの てびき	削除	「地図帳のさくいんを使って場所をたしかめる」を削除した。	指導者による補足 (児童が使っている地図帳に応じた探し方を知らせる必要がある。)

3年	168	説明	修正	「じっさいのきよりを表すものさし」の説明を「きよりを表すものさしを使って、その地図の上で長さをはかると、じっさいにどのくらいのきよりがあのかかわかる。」に変更した。	理解のしやすさ
	168	説明	修正	「はんれい」の説明を「地図の中の記号や線などが、それぞれ何を表しているのかかわかる。」に変更した。	理解のしやすさ
	168	地図	修正	「地図の見方」にある地図は、「横浜駅のあたりの地図」とタイトルを付け情報量を減らして点図化した。	触覚による把握
	170	説明	修正	<p>「地図にまとめる」に関する内容は、次のように修正した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>地図にまとめるには、まず、まとめる地いきの白地図を用意する。白地図は、教科書〇ページをさくこうにしてかいてもよい。</p> <p>土地の様子や土地の使われ方は、場所ごとにぬり分けて表すこともできる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>鉄道や道路は、太くなりすぎないように注意する。</p> <p>主なたてものは、地図記号を使うとわかりやすくなる。また、自分なりの記号を考えて、かいたりはったりするのもよい。</p> <p>さくら「〇ページのようにまとめると、どのあたりに何があるのか分かりやすいね。」</p> </div>	理解のしやすさ
	170	地図	削除	「地図にまとめる」にある地図は原典教科書39ページの地図と同じであるため削除し、該当ページを指示した。	指導者による補足
	171	図	修正	関係図は原典教科書61ページと同じであるが、巻が異なるため点図化した。	触覚による把握

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
4年	8	8	削除	「地図を使って」を「地図帳や資料を使って、それぞれの…」と変更した。	理解のしやすさ
		地図	修正	資料アの日本地図は点図化した。	触覚による把握 北方領土、竹島、尖閣諸島等は省略してある。
	9	写真資料	削除 修正	「地図を使って特産物を調べる・祭りを調べる・観光地を調べる」は、「各地の特産物・各地の祭り・各地の観光地」に変更し、写真はタイトル（県名）のみ掲載した。地図のそれぞれの写真は削除した。	理解のしやすさ
	10	地図	修正	日本地図は、次のように掲載した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 日本全図 7 地方区分がわかるもの</p> <p>2. 地方別、都道府県地図</p> </div> <p>※都道府県には県名と県庁所在地の位置のみ記した。また、7 地方は北から順に配置し、沖縄県のみ別図に 1 枚とし、合計 8 地方の扱いとした。</p>	触覚による把握 理解のしやすさ 北方領土、竹島、尖閣諸島等は省略してある。
	10	1	修正	「①こんなカードにしよう」の内容を次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ア. カードにクイズに出す都道府県の形を書いたり、都道府県の形のわかるものを用意してもらったりしよう。</p> <p>イ. 別のカードにクイズのヒントを書こう。</p> </div>	児童の実態に応じて、児童ができる内容に変更することが望ましい。都道府県の形がわかるものを用意するとより深い学びに繋がる。
	14	地図	修正	資料ア「福岡県の地形と市町村」は簡略化して点図化した。	触覚による把握
	地図	修正	資料イ「人口衛星から撮影した福岡県のすがた」は、簡略化して点図化した。森林の多い所を点線で囲んだ。	触覚による把握	
	吹き出し	修正	地図にかかっているゆうまのセリフの「濃い緑色の部分」を「点線で囲まれた部分を確認しよう」に変更した。	理解のしやすさ	

4年	15	図	修正	資料ウ「等高線にそって色分けした地図」は、等高線の数を減らして点図化した（40・60・80・100・120m）。点図の前に、先生のセリフ3か所を一つにまとめて掲載した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		図	修正	資料エ「ウの中のA-Bの線にそって切り、横からみた図」は、簡略化して点図化した。点図の後に、先生のセリフを掲載した。	触覚による把握 理解のしやすさ 立体地図などと併せて学習することが望ましい。
		学びの てびき	修正	③「等高線の間を塗り、土地の高さのちがいを読み取る」を「等高線をたどって、ちがいを読み取る」に変更した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	16	地図	修正	資料ア「福岡県の主な土地利用」は、工場や住宅商店・田畑果樹園・茶畑にして点図化した。	触覚による把握
	18	地図	修正	資料ア「福岡県の主な農産物や海産物と、その産地」は、地図は削除し、農産物は福岡県の北部と南部に分けて名称を列記した。海産物は玄界灘・響灘、周防灘、有明海に分けて名称を列記した。	理解のしやすさ
		グラフ	修正	資料イ「福岡県でつくられている主な農産物」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
	20	地図	修正	資料ア「福岡県の工業がさかんな市や町と主な工業製品」は、簡略化して点図化した。	触覚による把握
		グラフ	修正	資料イ「福岡県の市や町の工業製品の出荷額」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
	22	地図	修正	資料ア「福岡県の主な交通」は、高速道路・JR線にしぼって点図化した。	触覚による把握
24	地図	修正	ふせんをはった地図を簡略化して点図化した。図の説明のふせんの内容に番号を付けた。	触覚による把握 理解のしやすさ	
26	写真	修正	資料ア～ウの写真に次のタイトルをつけた。 教室掃除・給食残飯・ゴミ捨て場	理解のしやすさ	

4年	27	図	削除 修正	資料エ「学校の中のごみと、ごみを見つけた場所」は文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちの教室…紙くず, ほこり, 消しゴムかす, えんぴつの削りかす, 使った後のティッシュペーパー 2. げんかん…木の葉, すな, 小石 3. 保健室…消毒用のわた, ぼんそうこうのふくろ 4. 給食室…給食で使った食材の切りくず, どんボール, トレイ, ビニールぶくろ 5. 図工室…画用紙の切れはし, 木くず, 作品づくりに使った材料の一部 6. 家庭科室…布, 糸くず, 小麦粉のふくろ, たまごのからなど 7. 理科室…アルミホイル, 実験で使ったあとのごみ </div>	理解のしやすさ
		表	修正	資料オ「家から出るごみについて調べたことを記録する表の書き方」は, 図を削除し, 「○ページの資料イを見ましょう」に変更した。	理解のしやすさ
	28	地図	修正	資料ア「静岡県浜松市」の地図を点図化した。	触覚による把握
		表	修正	資料イ「家から出た…」は, 点図化した。	触覚による把握
29	資料	削除 修正	資料ウ「浜松市のごみの分別のしかたと, …」は, 絵を削除して文章にして並べた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. もやすごみ [収集: 週2回] 生ごみ, 革製品など, ゴム製品など, プラスチック製品, CD・DVD・ビデオテープ ア. 生ごみは, よく水を切って出す。 イ. 決められた袋に入れて出す。 2. もやさないごみ [収集: 2週に1回] ガラスや瀬戸物など, 金属製の生活用品, はもの・電球など ア. われ物やとがった物は, … イ. 決められたふくろに入れて出す。 3. 有害な物(特定品目) [収集: 4週に1回] ア. けいこうかんとそれ以外のもの… 4. 大型ごみ(連絡ごみ) ア. 電話で申し込んで処理券を買い, … </div>	理解のしやすさ	

4年	30	資料	削除 修正	資料ア・イは、29ページの資料の再掲であるため、該当箇所のページを示した。	理解のしやすさ
	33	グラフ	修正	資料エ・資料オのグラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	36	3	修正	「地図を見る」を「地図で確認する」に変更した。	理解のしやすさ
		地図	修正	資料イ「最終処分場の位置」の地図は、簡略化して点図化した。	触覚による把握
	37	グラフ	修正	資料オ「最終処分場にうめられた灰とごみの量の変化」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
	39	図	削除 修正	資料ウ「リサイクルの流れ」は、次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. びん→色ごとに細かくする→びん・ガラス製品 2. アルミ缶→四角く固める→アルミ缶 3. スチール缶→四角く固める→鉄製品 4. ペットボトル→細かくする→プラスチック製品 5. 紙パック→細かくする→トイレットペーパー </div>	理解のしやすさ
		資料	修正	資料エ「リサイクルによって作られた製品に表示されるマーク」は点図化した。	触覚による把握
地図		削除 追加	資料オ「仕分けされた資源ごみや金属のゆくえ」の地図は削除し、次の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>プラスチック→長野県, 福井県, 福岡県へ</p> <p>ペットボトル→岐阜県へ</p> <p>水銀→北海道へ</p> <p>かん電池→岡山県へ</p> </div>	理解のしやすさ	

4年	41	図	削除 修正	<p>資料ア「ひろとさんたちがまとめたごみ処理のしくみ」は次のように文章化した。</p> <div data-bbox="555 369 1101 1384" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>もやすごみともやさないごみは、それぞれ決められた袋に入れて捨てられ、収集車で清掃工場に運ばれる。もやさないごみの中から資源ごみ（鉄・アルミなどの金属）を取り出し、資源に変える工場に運ぶ。もやさないごみに混ざっていたもやすごみは、収集したもやすごみと合わせて焼却し、灰の多くはエコスラグに変わるが、一部の燃やしたごみの灰は最終処分場に送られる。</p> <p>大型ごみ（連絡ごみ）は、そだいごみ処理券を貼って捨てると、はさいせつに送られ、まざっていたもやすごみと金属などもやせずに残ったものに分けられ、清掃工場、最終処分場、資源に変える工場に送られる。</p> <p>資源ごみのびん・かん・ペットボトルは、資源の回収しせつから資源に変える工場に、紙類・衣類は回収する会社から資源に変える工場に運ばれる。資源ゴミは、ゴミを分別して収集＝決まりを守ることが大切。</p> <p>最終処分場に送られたものは、埋め立てられるが、新しい処分場をつくるには費用がかかるため、できるだけ長く使い続ける必要がある。</p> </div>	理解のしやすさ
	42	グラフ	修正	資料ア「市民一人当たりが1年間に出すごみの量」と資料イ「市民一人当たりのごみの処理にかかる費用の変化」のグラフはそのまま点図化した。	触覚による把握
	43	資料	削除 修正	<p>資料エ「ごみの種類の変化」は次のように文章化した。</p> <div data-bbox="555 1680 1101 1982" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今から約70年前：紙、ジュースのビン、炊飯器 2. 今から約60年前：プラスチックトレイ、ジュースの缶、テレビ 3. 今：弁当カス、ジュースなどのペットボトル、携帯電話 </div>	理解のしやすさ

4年	45	図	削除 修正	資料オ「古紙が再生されるまで」の図は次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 古紙を回収する場所 ア. 自治会や子供会など イ. スーパーマーケットや市の公共施設</p> <p>2. 古紙を回収する会社 古紙を種類ごとに仕分ける</p> <p>3. 古紙を再生した紙を作る工場 新たな紙製品をつくる</p> </div>	理解のしやすさ	
		グラフ	修正	資料カ「市内の会社がもうけた古紙を回収する場所の数」のグラフを数表化した。		理解のしやすさ
	50	地図	修正	資料イ「兵庫県尼崎市」の地図を点図化した。	触覚による把握	
	51	グラフ	修正	資料オ「回収した古紙の量」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ	
	52	地図	修正	資料ア「神奈川県相模原市」の地図を点図化した。	触覚による把握	
	56	53	資料	修正	資料エ「学校で2か月の間に使われた水の量が示された検針票」に記載されている内容を基に次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>使用水量1594m³ 上下水道料金842,122円（水道526,372円、下水道315,750円）などと書かれたレシート。使用水量の1594m³は、リットルに置き換えると、159万4000Lになります。</p> </div>	理解のしやすさ
			地図	修正	資料ア「谷ヶ原浄水場の位置」の地図を簡略化して点図化した。	
		地図	修正	資料イ「県内の主な水道しせつ」の地図は、範囲を狭めて簡略化して点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ	

4年	57	資料	修正	「カードの書き方」に資料記号「キ」をつけ、書き方を次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 1. 調べた施設や場所の名前 2. 何をするとところか、どんな役割があるのか 3. 調べて思ったこと </div>	理解のしやすさ
	58	絵	修正	資料ウ「浄水場で川の水がきれいになるまでのしくみ」の図は次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 取水ポンプ(川から水を取り入れます)→ちんさ池(水の中のごりを早く沈めるために薬を加え、砂を沈める)→ちんでん池(にごりの固まりを沈みやすくするためにかき混ぜてから、池の底によごれをしずませる)→ろか池(ちんでん池で取りのぞけなかったよごれを、砂の層を通して取り除く)→浄水池→送水ポンプ(きれいになった水を送る)→配水池→家庭など </div>	理解のしやすさ
	63	地図	削除	資料エ・資料オの写真の場所を示す地図は削除した。	指導者による補足
	64	図	修正	資料イ「水道管を通して水がとどくまで」の図を次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 川の水は、取水ポンプ・導水管を通して浄水場に行き、きれいにされて配水池に行きます。そこから、配水管を通して公園や家庭、学校や店などに届けられます。また、消火栓や緊急用の貯水槽、工場などにも届けられます。 </div>	理解のしやすさ
	65	グラフ	修正	資料エ「市の人口の変化」・資料オ「市の1日当たりの水道使用料の変化」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
	65	グラフ	修正	資料カ「水道管ののびるきょうの変化」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ

4年	66	図	削除 修正	資料イ「よごれた水がきれいになるまで」の図は、次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>家の台所やお風呂、トイレなどから、また、水中の有害物質を取りのぞくしせつから出されたよごれた水は、下水管を通過して下水処理しせつに流れていく。そこで、ちんさ池・ちんでん池、消毒せつびなどを通して、水質検査を受け、川に流される。</p> <p>雨の水は、下水管とは別の管で川に流される。</p> </div>	理解のしやすさ
	67	グラフ	修正	資料エ「下水管ののびるきよりの変化」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
	69	グラフ	修正	資料ア「市内の1工場当たりで1日に使われる水の量」・資料イ「市内の1家庭当たりで1日に使われる水の量」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
	70 ～71	資料	修正	すごろくは、すごろくのマス目と、書いてあることを分けて掲載した。	学びのてびきでも扱われているため、すごろくを点字教科書にも掲載しているが、盲児が同様の活動を行うためにはたくさんの時間が必要である。この単元では水の循環について理解させるのがねらいであることを踏まえ、児童の実態に合わせた活動をするとうい。
4年	74	資料	修正	「電気が届くまで」の図は、次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発電に使う天然ガスがタンカーで外国から火力発電所や原子力発電所に運ばれます。これらの発電所や水の力で電気を作る水力発電所で作られた電気は、送電線を通して変電所に届きます。変電所から家庭や鉄道、工場などに電気が届けられます。</p> </div>	理解のしやすさ

	75	地図	修正	資料サ「ゆうまさんたちが使っている電気をつくるしせつの位置」の地図を点図化した。	触覚による把握
	76	グラフ	修正	資料イ「国内でつくり出すことのできる電力と、実際に使われた電力」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
	77	絵	修正	資料ウ「発電のしくみ」のイラストは次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>水力発電であれば水の流れる力、火力発電であれば蒸気力で発電機の羽根車を回転させて発電する。</p> </div>	理解のしやすさ
	79	グラフ	修正	資料ウ「国内の1年間の総発電量」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
	79	絵	削除 修正	資料エ「節電を考えた暮らしの例」のイラストは次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 換気をよくして部屋を涼しくする 2. 太陽光を利用して発電する。 3. 太陽熱を利用して湯をわかしたり部屋を暖めたりする。 4. 断熱を強化する。 5. 風力を利用して発電する。 6. LEDランプなど省エネルギーの家庭電化製品を使う。 7. モニターで使用電力をチェックする。 </div>	理解のしやすさ
	80	資料	削除 修正	資料アは、次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>タンカー船で運ばれてきた燃料をもとに、ガスを製造する基地でガスが作られる。作られたガスはガス管を通してガスを一時的にためておくしせつ・供給指令センター・工場・天然ガスステーションなどに送られる。天然ガスステーションのガスは、緊急自動車や燃料電池自動車、天然ガス自動車などで使われている。</p> <p>また、学校やレストラン、家庭までガス管は伸びていて、届いたガスは、家庭で給湯・ガスコンロ・お風呂などで使われている。ガスメーターを確認すると、使ったガスの量が分かるようになっている。</p> </div>	理解のしやすさ

4年	81	地図	修正	資料ウ「あおいさんたちが使っているガスを送りどける主なガス管の広がり」の地図は簡略化して点図化した。	触覚による把握
		グラフ	修正	資料エ「ガスのはん売量の変化」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	85	地図	修正	資料ウ「静岡県静岡市」の地図を点図化した。	触覚による把握
	87	図	修正	資料ウ「地震や津波から住民を守るしくみ」の図は次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>県は気象台から地震や津波に関する情報を伝えてもらい、市役所に協力を求められたり、情報を共有したり、食料や水を届けたりします。また、救助する人たち（自衛隊・警察の人・消防の人）に協力を求めたり、食料や水を提供してもらったりします。</p> <p>市役所は、県だけでなく、救出する人たちや緊急時に協力してもらう会社や自主防災組織などに協力を求め、被害の様子の情報を集めたり、食料や水を提供してもらったりします。そしてあつまった情報をもとに防災メールなどを発信します。</p> <p>市役所や救出する人たち、また自主防災組織の人たちは、住民を病院や緊急時の避難場所や避難所に避難させ、食料や水を届けます。</p> </div>	理解のしやすさ
	89	地図	削除	資料ウ「防災マップ」と資料エ「津波ひなんマップ」は削除し、説明のみとした。	指導者による補足
		資料	修正	資料オ「市の広報パンフレット」は、パンフレットの内容を次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地震発生時の行動チャートとして、地震発生時・1～2分・3分とどのような行動をとればよいかがかかれています。</p> </div>	理解のしやすさ
	91	学びのてびき	修正	「エを見て」を「資料エから」に変更した。	理解のしやすさ

4年		地図	修正	資料エ「主なひなんしせつの位置」は簡略化して点図化した。	触覚による把握
	95	グラフ	修正	資料カ「工事によって、地震に強いつくりになった家の数」のグラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	97	地図	修正	資料エ「ひなんした場所と津波のひがいはんい」の地図は、簡略化して点図化した。	触覚による把握
	100	活動	修正	「活動」の一つを次のように変更した。 1. 過去に起こった水害のことを聞いて、感じたことを話し合おう。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
	101	地図	修正	資料エ「新潟県三条市」の地図を点図化した。	触覚による把握
	103	地図	修正	資料オ「地図で見る三条市付近」の地図は、簡略化して点図化した。	触覚による把握
	105	図	修正	資料エ「水害から住民を守るしくみ」の図は次のように文章化した。 県は、市役所に協力を求められたり、情報を共有したり、食料や水を届けたりします。また、救助する人たち（自衛隊・警察の人・消防団や水防の人）や運送会社などに協力を求めたり、食料や水を提供してもらったりします。 市役所は、川を管理する県や国土交通省に協力を求め、川の水量にかんする情報を提供してもらいます。また、県だけでなく、救助する人たちや緊急時に協力してもらう会社や自治会などに協力を求め、ひがいの様子の情報を集めたり、食料や水を提供してもらったりします。そして、あつまった情報をもとに防災無線などを発信します。 救出する人たちは住民をひなん所などにひなんさせ、市役所から食料や水をとどけます。	理解のしやすさ
	107	地図	修正	資料ウ「五十嵐川の水害にそなえる取り組み」の地図は、簡略化して点図化した。	触覚による把握

4年		写真	修正	資料エ「電柱にかかげられた『まるごとまちごとハザードマップ』の標識」に書かれていることを文章化した。	理解のしやすさ
	109	地図	削除	資料エ「ガイドブックの中の『にげどきマップ』」は削除した。	指導者による補足 (にげどきマップがどのようなものか)
	110	図	修正	関係図は削除し、言葉による説明に変更した。	関係図は、学びのてびきで扱われているが、複雑な関係図を盲児が自分で作成するには負担が大きいと考えられる。児童の実態に合わせたまとめ方を行うことが望ましい。
	112	地図	修正	資料ウ「北海道伊達市」の地図を点図化した。	触覚による把握 北方領土等は省略してある。
	113	図	修正	資料エ「有珠山火山防災協議会と、関係機関の役割」の図を点図化した。	触覚による把握
		地図	修正	資料オ「有珠山火山防災マップ」は簡略化して点図化した。	触覚による把握
	115	地図	修正	資料ウ「除雪のためのしせつや集めた雪を置く場所の位置」の地図は、範囲を狭めて簡略化して点図化した。	触覚による把握
		図	修正	資料エ「雪の災害が発生した場合に協力するしくみ」の図を点図化した。	触覚による把握
	116	写真	削除	阿波おどりの写真を削除した。	指導者による補足
	~117	地図	修正	資料ア「徳島県徳島市」の地図を点図化した。	触覚による把握
	121	絵	削除	資料ウ「連」にある「このイラストは、一つの例です。」の一文を削除した。	指導者による補足
	122	地図	削除 修正	資料イ「阿波おどりが行われる地域」の地図を削除し、都道府県コードの順に表にした。	理解のしやすさ
	123	吹き出し	削除	ひろとの吹き出しは、本文と内容が重複しているため削除した。	理解のしやすさ
124	活動 本文	修正	本文の「地図を使って」、活動の「地図で」をそれぞれ削除した。	地図を削除したため	

4年	125	地図	削除 修正	資料ク「県内にある昔から受けつがれてきたもの」の地図は削除し、北から順に示した。	理解のしやすさ
	129	グラフ	修正	資料オ「阿波人形浄瑠璃がふたたび行われるようになった農村舞台」のグラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	130	本文	修正	「…調べたことを表に整理し」を「こうもくごとに整理し」と修正した。	理解のしやすさ
		吹き出し	修正	あおいの吹き出し「表に書き入れていこうよ。」を「整理していこうよ。」と修正した。	理解のしやすさ
		学びの てびき	修正	「表に整理して」を「整理して」、「1. くらべることを表に書く。」を「1. くらべることをきめる。」と修正した。	理解のしやすさ
	131	表	修正	資料ア「阿波おどりと阿波人形浄瑠璃をくらべた表」については、番号や記号を付記して項目毎にまとめた。	理解のしやすさ
	132	本文	修正	「近くにいた人」を、後のページに名前が出てくる「鈴木さん」と記した。	理解のしやすさ
		地図	削除 追加	「さくらさんたちが住んでいるさいたま市と、江戸」の地図を削除し、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> さくらさんたちの住んでいる地域にある史跡と江戸（今の東京都千代田区のあたり）は、県境をこえて水路でつながっています。 </div>	理解のしやすさ
	133	地図	修正	資料エ「埼玉県さいたま市」の地図を点図化した。	触覚による把握 北方領土、竹島、尖閣諸島は省略してある。
	134	地図	修正	資料イ「新田開発前の地域の様子」と資料ウ「新田開発後の地域の様子」は、簡略化して点図化し、比較しやすいよう見開きで掲載した。	触覚による把握
136	地図	削除 追加	「見沼代用水が流れる地域」の地図を削除し、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 利根川から取り入れられた見沼代用水は、いくつかの川と交差しながら、台地と台地の間の低い土地を流れて広がっています。 </div>	理解のしやすさ	

4年	139	図	修正	資料カ「ふせこのしくみ」と資料キ「かけといのしくみ」は簡略化して点図化した。	触覚による把握
		資料	修正	資料ク「工事のくふうをかけたふせん」を実際の活動に合わせて「カード」に修正した。	点字が書きやすいように、点字用紙を切って作ったカード等を用いることが考えられる。
	140	本文	修正	「等高線の入った地図に色をぬってみました。」を「等高線の入った地図でたしかめました。」に修正した。	理解のしやすさ
		学びの てびき	修正 削除	「地形図に着色して」を「地図から」、「着色した地図から」を「地図から」と修正し、②を全て削除した。	児童の保有視力等に応じて活動を変更する必要がある。
		地図	修正	資料ア「見沼代用水がふたてに分かれて流れる場所の地図」については、サーモフォームで触図化した。	触覚による把握
		図	修正	資料ウ「二つの用水路と用水路にはさまれた土地」は、簡略化して点図化した。	触覚による把握
	142	やってみよう	修正	「右のふきだしに入る言葉を、ふせんに書こう。」を「次のふきだしに入る言葉を、ノートに書こう。」と修正した。	点字の書きやすさに配慮した。
		絵	削除 追加	資料ア「工事の様子」の絵を削除し、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">上半身裸やふんどし姿の大勢の農民たちが、様々な道具を使って作業をしています。</div>	理解のしやすさ
	144	活動 本文	修正	「ふせん」を「カード」に修正した。	点字の書きやすさに配慮した。
		地図	修正	資料ア「地図に整理した弥惣兵衛が行ったくふう」の地図は簡素化して点図化した。地図上の該当箇所記号を示し、カードの内容は別に記した。地図上の吹き出しは削除した。	触覚による把握

4年	145	図	削除 追加	資料ウ「水を取り入れるしせつのくふう」の図は削除し、次のように説明の一部を修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. ていぼうの中にしせつをうめこみ、まわりを石で固めた。</p> <p>2. 格子のような板を上げ下げして、取り入れる水量を調整した。</p> </div>	理解のしやすさ
		図	修正	資料エ「八間せきを明け、十六間せきをしめている場合」の図は、簡略化して点図化した。	触覚による把握
	147	地図	削除 追加	資料オ「弥惣兵衛が工事の無事や、見沼代用水の水の安定した流れを願って建てたとされるしせつ」の地図は削除し、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>利根川から水を取り入れる付近に1か所、星川と別れる付近に1か所（星川弁財天）、見沼代用水東縁に沿って3か所あります（そのうちの1つが万年寺）。</p> </div>	理解のしやすさ
	150	地図	削除 追加	資料イ「見沼新田が開かれた場所の、今の土地利用」の地図は削除し、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>公園や住宅などに利用されている土地もありますが、多くの土地は田や畑に利用されています。</p> </div>	理解のしやすさ
	152	本文 学びの てびき	修正	「ふせん」を「カード」に修正した。	点字の書きやすさに配慮した。
	153	地図	削除 追加	地図を削除し、前掲の地図を参照するようにした。次のようなタイトルと説明文を追加して、新たに加えたカードの内容を記した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>完成した地図</p> <p>○ページの地図に、次のカードを新たにはって、地図を完成させました。</p> </div>	理解のしやすさ

4年		やってみよう	修正	「上のふきだしに言葉を入れよう。」を「次の空欄に入る言葉を考えよう。」に修正した。	点字の書きやすさに配慮した。
	155	図	修正	資料オ「地域の学校のうつり変わり」の図を点図化した。	触覚による把握
		地図	修正	資料カ「神奈川県藤沢市」の地図を点図化した。	触覚による把握
	156	地図	修正	資料ウ「山梨県昭和町」の地図を点図化した。	触覚による把握
	157	グラフ	修正	資料ク「病気でなくなった人の数」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
	158	資料	削除 追加	資料イ「植物園にある看板」の写真を削除し、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>イネの看板には、「おもろ名 いな」「和名 イネ」「科名 イネ科」「方言 ンニ」と書かれています。</p> </div>	理解のしやすさ
	159	地図	修正	資料カ「沖縄県那覇市」の地図を点図化した。	触覚による把握 尖閣諸島等は省略してある。
	161	グラフ	修正	資料カ「都道府県別の米の生産量」のグラフは、縦軸と横軸をかえて点図化した。	触覚による把握
		地図	修正	資料キ「北海道北広島市」の地図を点図化した。	触覚による把握 北方領土等は省略してある。
	163	地図	削除 修正	資料オ「みんなが発表した県内の知っている地域」の地図は削除し、北から順に掲載した。	理解のしやすさ
	学びの てびき	修正	「観光パンフレットやガイドブックで調べる」を「観光パンフレットやガイドブックなどで調べる」と修正した。	インターネットを活用することなども考えられる。	
164	学びの てびき	修正	「縮尺のちがう地図で調べる」の②を次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>2. 表される地図のちがいをたしかめる。</p> </div>	スケールの表示を省略したため。	

4年		地図	修正 追加	資料イ「縮尺が25万分の1の東峰村の地図」と資料ウ「縮尺が2万5000分の1の東峰村の地図」は簡略化して点図化し、比較できるよう見開きで掲載した。「縮尺が2万5000分の1の東峰村の地図」には、次の説明文を追加した。 地図イ.の塗りつぶされた部分を表した地図です	触覚による把握
	166	地図	削除 追加	資料イ「小石原焼の始まりにかかわる国や地域」の地図は削除し、次のような説明文を追加した。 中国（もとの明）は、東シナ海をはさんで東峰村の西に位置しています。朝鮮半島は、東峰村の北西300km以内のところに位置しています。	理解のしやすさ
	167	グラフ	修正	資料ウ「東峰村のかま元の数の変化」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
	168 ～169	写真	修正	「形づくりから焼きあげまで」の写真のタイトルには、作業の工程が分かりやすいよう番号をつけた。	理解のしやすさ
	170	グラフ	修正	資料ア「東峰村の人口の変化」のグラフは、縦軸と横軸をかえて点図化した。	触覚による把握
	172	本文	修正	「図に表してみることにしました。」を「項目ごとにまとめてみることにしました。」と修正した。	点字の書きやすさに配慮した。
	173	黒板	修正	「東峰村で焼き物づくりがさかんなわけ」という題名を追加し、項目ごとに番号を付記して整理した。「東峰村では、焼き物づくりがさかん！」の一文は削除した。	点字の書きやすさに配慮した。
	174	地図	修正	資料ア「神奈川県箱根町」の地図を点図化した。	触覚による把握
	176	地図	修正	資料ア「東京都練馬区」の地図を点図化した。	触覚による把握
	178	地図	修正	資料ア「太宰府市の中心部とその周辺の地図」は次のように簡略化し点図化した。 ・主要な道路を残し、河川や鉄道、市役所は削除 ・施設名は「太宰府政庁跡」「観世音寺境内」「太宰府天満宮」「九州国立博物館」のみ掲載	触覚による把握
179	グラフ	修正	資料エ「太宰府をおとずれる人の数の変化」のグラフは数値化した。	理解のしやすさ	

4年	182	地図	削除 追加	資料エ「史跡に指定された地域」の地図は削除し、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>太宰府政庁跡を含む広い地域が史跡の指定地域となっています。</p> </div>	理解のしやすさ
	183	写真	修正	資料エ「史跡として整備される前の太宰府政庁跡（約50年前）」の説明の「○ページのイとくらべると」を「現在の空から見た太宰府政庁跡とくらべると」と修正した。	理解のしやすさ
	187	地図	削除 追加	資料カ「もよおしが開かれた場所」の地図は削除し、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>もよおしの会場である観世音寺境内は、太宰府天満宮と太宰府政庁跡を結ぶ道路のほぼ中間地点にあります。</p> </div>	理解のしやすさ
	188	本文	追加 修正	あおいのセリフの後に「カードに書いた人」という題名を追加し、カードごとに番号を付けて列記した。	理解のしやすさ
	190	写真	修正	資料ア「波津海水浴場」の説明文に、次のような漢字の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>国の「快（こころよいの「かい」）水浴場百選」にも選ばれました。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足 （使われている漢字が通常と異なる）
		地図	修正	資料イ「岡垣町の土地の様子と土地利用」の地図は、周りの市町村、役場、工場を削除して点図化した。	触覚による把握
	192	グラフ	修正	資料ウ「岡垣町の気温の変化」のグラフは点図化した。	触覚による把握
	194	地図	修正	資料イ「びわ畑のある場所と岡垣町の地形」の地図は、0～20m、20～200m、200～の3段階にしぼり、サーモフォームで触図化した。	触覚による把握
	195	グラフ	修正	資料エ「高倉びわの生産量」と資料オ「びわ畑の面積」のグラフは、縦軸と横軸をかえて点図化した。	触覚による把握

4年	197	写真	修正	資料エ「岡垣町のさまざまな特産物や特産品」の説明を次のように修正した。 かめの形をした「かめさんクッキー」もあります	理解のしやすさ
	199	本文	修正	「岡垣町のよさをふせんにかきました。書いたふせんを岡垣町の地図上にはり、その地図を使って岡垣町のよさを発表していきました。」を次のように修正した。 岡垣町のよさをノートに書き出し、岡垣町のよさを発表していきました。	点字の書きやすさに配慮した。
		地図	削除 追加	地図は削除し、「岡垣町のよさ」という題名のあと、内容に番号を付けて列記した。	地図ではなく、ノートにまとめるという活動に変更した。
		学習の てびき	修正	「ふせん」を「カード」に修正した。	地図ではなくノートにまとめる活動に変更したため、学習活動と直接関連はなくなるが、参考として載せている。
	203	地図	削除 修正	資料オ「福岡市と飛行機や船でつながる主な国や地域」の地図を削除し、次のように表化した。掲載順は、日本(都道府県コード)、外国(50音順)とした。 福岡市と飛行機や船でつながる主な国や地域 飛行機でつながる主な国や地域を距離ごとに整理しています。〔船〕と書かれているところは、飛行機と船の両方でつながっています。 1. 福岡市から1000km以内の距離 新潟 成田 東京 名古屋 大阪 那覇 シヤンハイ(船) ソウル ターリエン チンタオ テグ プサン(船)	理解のしやすさ

4年				<p>2. 福岡市から1000～2000 k mの距離 札幌 仙台 ウーハン カオシュン タイペイ ペキン</p> <p>3. 福岡市から2000～3000 k mの距離 グアム ハノイ ホンコン マカオ マニラ</p> <p>4. 福岡市から3000～4000 k mの距離 バンコク ホーチミン</p> <p>5. 福岡市から4000 k m以上の距離 シンガポール</p>	
204	活動	修正	「都市の位置を、地図でたしかめよう。」を「都市をたしかめよう。」に修正した。	地図を削除したため。	
205	地図	削除 修正	資料ウのタイトルを「福岡市の姉妹都市や友好都市」から「福岡市の姉妹都市や友好都市と、その国の国旗」と修正し、地図を省略して表化した都市名(国名の50音順)と国旗を分けて掲載した。国旗は、日本とフランスのみ点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握	
209	写真	修正	資料アのタイトル「バッジをつけた台湾から来た観光客」を「『やさしい日本語おねがいます』というバッジをつけた台湾から来た観光客」に修正した。	理解のしやすさ	
210	地図	修正	地図に「みんながつくったガイドマップ」という表題を追加し、簡略化して点図化した。地図上に市町村名をナンバリングし、市町村名と紹介したいことを別表にした。イラストのみのものも言葉にして表に入れた。	触覚による把握	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
5年	6	文章	修正 補足	<p>資料ア「世界地図を読み取る」のあとに、次の文章を追加した。</p> <p>「○ページの世界地図を読み取って、一緒に考えてみよう」</p> <p>※○には点字教科書の該当ページが入る。</p>	理解のしやすさ
	6	学びの てびき	修正 補足	「学びの手引き」②の文末を、 「…と比べて話し合う」と修正した	理解のしやすさ

5年	7	文章	修正 補足	「ウ. 地球儀を読み取る」のあとに, 「地球儀を使って, 読み取りながら一緒に考えてみましょう」の文を加えた	理解のしやすさ
	8～9	やってみよう	修正	「やってみようの『作業② 地球儀の上をなぞって…』は, (教科書) ○ページの地図をなぞって…」と修正した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	8～9	地図	修正	掲載の世界地図を次の通りとした。 世界地図は6大陸3大洋を示す。ただし教科書の空欄は活かし, 番号を振る) 地図の後のページに, 教科書に掲載した国を大陸ごとに50音順でリスト化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	8～11	写真	削除 修正	この4ページにわたる写真は, 「ワールドツアー」に 関係する内容であるため, まとめて表にした。タイトルとして「外国の世界遺産や, 名所・名物」とした。	理解のしやすさ 触覚による把握
	10	学びの てびき	修正補 足	②折り目に, 線を書き入れる を 「折り目に, 線や切れ目を入れる」とする	理解のしやすさ 指導者による補足
	11	図	修正	資料キの「地球上の位置の表し方」については, 先に 説明を加えた上で, 必要な箇所(説明がある箇所)のみ図示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	12	女の子	修正	「日本の東西南北の端を線で結べば…」の「線を」を 削除した	理解のしやすさ
	12～13	地図	修正補 足追加	資料ア「日本の国土とそのまわり」は点図化した。 また国旗は原典掲載のうち日本, ロシア, モンゴル, 北朝鮮, フィリピンの4カ国の国旗を点図化した。	理解のしやすさ
	12	やってみよう	修正	次のように文を修正した。 「日本のはん囲はどこまでか, アの日本の周りを なぞって考えてみよう」	理解のしやすさ 触覚による把握
	14	資料	修正	資料ア「領土と排他的経済水域の違い」は, データを 数表化した。	理解のしやすさ
	14	地図	修正	資料イ「日本の領土, 領海, 排他的経済水域」は, 点 図化した。	触覚による把握と理解の しやすさから, 竹島や尖閣 諸島等は省略したが, 領土 や排他的経済水域と密接 な関係があることから, 十 分留意して指導に当たり たい。

5年	15	写真	修正 削除	資料ウ「外国との国境に近い島々」は、写真を削除し、それぞれの場所ごとの文のみにした。	理解のしやすさ
	16	地図	修正	資料ア「竹島とその周辺」では、韓国と中国四国地方全体が入る地図で、竹島の位置を示す。 竹島周辺の地図は次の文に変更した。 「竹島は西側に男島（西島），東側に女島（東島）の二つの島から成り立っています」	理解のしやすさ 触覚による把握
	16	地図	修正	資料ウ「尖閣諸島とその周辺」は、原典の全体が入る地図で、尖閣諸島の位置を示す。 尖閣諸島周辺の地図は次の文に変更した。 「尖閣諸島は、南小島，北小島，魚釣島，久場島，大正島と，沖ノ北岩，沖ノ南岩，飛瀬から成り立っています。」	理解のしやすさ 触覚による把握
	17	まとめ る	修正	セリフの空欄にア．～カ．の記号をつけた。 その上で、先生のコメントを「・上のア．～カ．にあてはまる…」とし、また二つめについて、「…ノートに書き出してみましよう」とした。	理解のしやすさ
	18	ゆうま	修正	写真を見たセリフの部分で、「同じ3月なのに、様子が違うようだね」とした	理解のしやすさ
	18	地図	修正	資料エ「小笠原諸島，知床，奥日光の位置」はそれぞれの場所がわかるように点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 北方領土，竹島，尖閣諸島等は省略してある。
	18～19	グラフ	修正	資料オ「小笠原諸島と知床の気温」・資料キ「知床と奥日光の気温」はそれぞれグラフで示した。知床と奥日光の判別について、補足が必要となる。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	18～19	地図	修正	資料カ「桜が咲く時期のちがいは開花時期がはっきりわかるよう点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 北方領土，竹島，尖閣諸島等は省略してある。

5年	20～21	やってみよう	修正	「()に書き入れる」は、「ノートに書き出す」とした	理解のしやすさ		
	20～21	地図	修正 削除	「地図」は、()を置かず、すべてに地名を書き入れる。標高については、色分け等の部分は削除し、奥日光と知床の数値のみ示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 竹島と尖閣諸島は省略してある。		
	20～21	図	修正 削除	資料ア「さまざまな地形の様子」は、図を削除し、次の順番でキャプションの説明のみ掲載した。 「高地」山脈, 山地, 湖 「低地」盆地, 台地, 平野, 川, 海	理解のしやすさ 触覚による把握		
	22～23	地図	修正	「気温と降水量のグラフを示した6カ所の位置」は、地図を削除し、資料番号カ. ～サ. の順にリストにして示す。	理解のしやすさ		
	22～23	グラフ	修正	「気温と降水量のグラフ」は、資料カ～サの順に掲載した。	理解のしやすさ 触覚による把握		
	23	図	修正	資料シ「台風の進路」は、月ごとの代表的な進路に絞って掲載した。	理解のしやすさ		
	23	絵図	修正	資料ス「夏の季節風」と「セ. 冬の季節風」は、模式的な断面図としてそれぞれ掲載した。	理解のしやすさ 触覚による把握		
	24～25	まとめ	修正	タイトルを「日本の気候や地形の特色を、地図に表そう」とした。以下、本ページでは「白地図」の表記は「地図」と基本的に変更した。	理解のしやすさ 触覚による把握		
	24	やってみよう	修正 追加	「活動」の一部を次のように変更した。 <table border="1" data-bbox="555 1400 1102 1507"> <tr> <td>1 マーカーなどで線を引こう→地図に表そう</td> </tr> <tr> <td>2～4 付箋に→紙に</td> </tr> </table>	1 マーカーなどで線を引こう→地図に表そう	2～4 付箋に→紙に	理解のしやすさ 指導者による補足
	1 マーカーなどで線を引こう→地図に表そう						
	2～4 付箋に→紙に						
25	セリフ	修正	あおい「さっき書いたふせんが…」を「紙が…」に変更した。	理解のしやすさ 指導者による補足			
26～27	資料	修正	あたたかい地域と寒い地域、高地と低地の差が構造的に比較できるように、項目名と特徴、写真を構造化して整理した。	理解のしやすさ 指導者による補足			
26～27	地図	修正	4カ所の位置を示す地図は、四カ所の相対的な位置関係がわかるように点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 北方領土、竹島、尖閣諸島等は省略してある。			

5年	28～29	資料	修正	資料オ「野辺山原と佐原北部の標高」は、図を削除し、次のように文面に直した。 「佐原北部はほぼ標高0m、野辺山原の標高は約1500mあります」	理解のしやすさ
	30～31	地図	修正	資料ア「沖縄県の島々」は、全体像が理解しやすいように点図化した	理解のしやすさ 触覚による把握
	30～31	表	修正	資料オ「沖縄県の行事カレンダー（2017年）」は、次ごとの出来事がわかるように表で示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	30～31	グラフ	削除 修正	資料ク「沖縄県にきた観光客の数」は、数表化した。	理解のしやすさ
	32～33	グラフ	削除 修正	資料ウ「沖縄県の主な農産物の作付面積」は、数表化した。	理解のしやすさ
	32～33	絵 グラフ	削除 修正	資料エ「沖縄県で多く生産されている農産物や水産物」は、絵は削除し、グラフの数値を数表化した。	理解のしやすさ
	32～33	グラフ	削除 修正	資料キ「東京都の市場に出荷された小菊の数」は、月ごと、沖縄県産とその他の数を数値化して示す	理解のしやすさ
	34～35	グラフ	削除 修正	資料ア「地方ごとの、台風が近づいた回数」は数表化して示した。	理解のしやすさ
	34～35	地図	修正 削除 補足	資料キ「沖縄島周辺の土地利用の様子と、水不足に備える施設」は、地図化した。 なお、地下ダムとダムは同じものとして扱った。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	36～37	地図	修正 削除	資料ア「長野県南牧村の位置」は、三つの山の山頂の印と1000mと1600mの等高線のみ入れ、三つの山の標高は図の説明に記した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	36～37	表	修正 削除	資料イ「野辺山原の野菜作りカレンダー」は、「月ごとの平均気温」と、「野菜ごとの項目別に時期を示すもの」で構成した表にする。	理解のしやすさ 触覚による把握
	36～37	グラフ	削除 修正	資料カ「野辺山原尾主な農作物の作付面積」は、数表化した。	理解のしやすさ
	36～37	グラフ	削除 修正	資料キ「東京都の市場に出荷されたレタスの量」は、全体の数と長野県産の数を抽出し、数表化した。	理解のしやすさ

5年	38～39	地図	修正	資料エ「野辺山原の土地利用」は、森林と住宅をわけ、その他は一つとして扱い、掲載箇所を絞った形で点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	38～39	グラフ	削除 修正	資料キ「野辺山原をおとずれた観光客の数」は、数表化した。	理解のしやすさ
	40～41	セリフ	修正	「アとイで作業の様子を見ると…」を「アとイの作業の様子から…」に変更した。	理解のしやすさ
	40～41	グラフ	修正	資料キ「野辺山原の主な野菜の作付面積の変化」は、野菜ごとに数表化した。	理解のしやすさ
	42～43	学びの てびき	修正	学びのてびきのうち、③④を次のように変更した。 ③ 写真やグラフ、パンフレットなども使いながら、自然条件とどのような関わりがあるかをノートにまとめる。読む人がわかりやすいみだしをつける。 ④ 各自でまとめたノートを読み合う	理解のしやすさ
	44～45	地図	修正	資料エ「北海道」（地図）は、掲載場所の情報を図上に示す形で点図化した。気温は別表に示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	44～45	グラフ	修正	資料オ「北海道にきた観光客の数」は数表化した	理解のしやすさ
	44～45	地図	修正 削除	資料ケ「世界自然遺産やラムサール条約の登録地」は、地図を削除し、地名を50音順にリスト化する。場所ごとに市町村名を記す。	理解のしやすさ
	46～47	地図	修正	資料キ「北海道の周りの海」は点図化し、海流の動きがわかるようにした。	理解のしやすさ 触覚による把握
48～49	グラフ	修正	資料ウ「各地の1年間にふる雪の量」は、数表化した。	理解のしやすさ	

5年	48～49	絵	修正 削除 補足	資料オ「寒さに備えた家のつくり」は、「資料」として扱い、次の順に記述した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ア. 家の土台は… イ. 二重の玄関にする ウ. 空気を入れ換える… (家の壁についている) エ. 壁やゆかに断熱材を… オ. 二重の窓にする カ. 水道の水抜き栓をつくり、土の凍らない深さ おおよそ1 mより下にひく キ. ストープから管を引き、家の外の灯油タンクにつなぐ ク. 雪が落ちやすいように、かたむきの急な屋根する。 ケ. 屋根でとけた雪は、くぼんだ溝から排水される。 コ. 雪が落ちやすいようにかたむきの急な屋根にする サ. 屋根でとけた雪はくぼんだ溝から排水される</p> </div>	理解のしやすさ
50～51	地図	修正 削除	資料イ「佐原北部の位置」については、茨城県と千葉県の県境部周辺を強調して地図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足	
50～51	図	修正	資料ウ「佐原北部の土地の様子」の断面図は、堤防と盛り土の関係がわかるように断面を図示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足	
50～51	セリフ	修正	「オで広がりを見ると…」を「オで広がりを考えると…」に変更した。	理解のしやすさ	
50～51	グラフ	修正 削除	資料ク「千葉県の市町村別の米の生産量」は、数表化した。	理解のしやすさ	
52～53	地図	修正	資料エ「佐原北部の土地利用」は、点図化した。なお、田畑と住宅・森林の2種類のみに分け、また利根川、横利根川、常陸利根川と霞ヶ浦のみ記載した。	触覚による把握	
52～53	表	修正	資料カ「佐原地区でのさまざまな行事」は表で示した。	理解のしやすさ	
56～57	地図	修正 削除	資料ア「アイヌの人たちが暮らしていた範囲」は、次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>アイヌの人たちは、現在の北海道と、樺太（サハリン）の南側、千島列島（クリル）にくらしていました。</p> </div>	理解のしやすさ	

5年	58	写真	削除 補足	資料ア「さまざまな食料と産地」の写真を削除し、写真から読み取れる食料名、産地を補足説明として記した。	理解のしやすさ
	58	地図 絵	削除 修正	資料イ「主な食料の産地の地図」は、土地利用のようすのみ点図化した。土地利用のようすは、「田」、「畑・牧草地」の2枚の点図に分け、「果樹園」「その他」は省略した。主な食料の産地は、食料ごとに産地の都道府県名を列挙した。（都道府県名は県番号順）	理解のしやすさ 触覚による把握
	59	絵	修正	資料エ「国民一人当たりの主な食料の消費量」は数表化した。	理解のしやすさ
	60	学びの てびき	修正	次のように表現を修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1. 家庭にある米ぶくろの実物（うらの表示なども参考になる。） 2. 都道府県ごとに分類する。 </div>	理解のしやすさ
	61	地図	削除 修正	資料ウ「都道府県別の米の生産量」の地図は、点図化した。絵は削除し、「30万t以上生産している都道府県」とタイトルをつけ、数表化した。（生産量の多い順）	理解のしやすさ 触覚による把握
	62	地図	修正	資料イ「新潟県南魚沼市」は点図化した。	触覚による把握
	62	地図	修正	資料ウ「南魚沼市の土地利用」は点図化した。JR、市役所、川（魚野川、宇田沢川、さぐり川）、田の広がり、新田の地名がある位置を点図化し、畑、住宅等は省略した。 「新田」がつく地名を列挙した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	62	グラフ	修正	資料エ「南魚沼市周辺の気温と降水量」は点図化した。	触覚による把握
	62	グラフ	修正	資料オ「暑い時期の南魚沼市周辺と東京都心の気温」を数表化した。	理解のしやすさ
64	学びの てびき	修正 補足 追加	点字使用の児童が整理しやすい方法に修正した。また、図表は、文章化して示した。	理解のしやすさ 指導者による補足（個々の実態合わせて、整理の仕方を工夫する）	

5年	64-65	写真	補足	資料ア〜ウ「南魚沼市の米づくりの様子」に次のように説明を加えた。 ア. トラクターを使って肥料をまく準備 イ. 田植え機での田植え ウ. コンバインでの稲かり	理解のしやすさ
	66	図	修正	「三輪さんの米づくりカレンダー」は、表にした。	理解のしやすさ
	69	図	修正	資料カ「かもの役割」は、絵を削除し、文章のみにした。	理解のしやすさ
	69	図	修正	資料ク「科学肥料にたよらない米づくり」は、絵を削除し、点図化した。	触覚による把握
	70	図	修正	資料ア「新しい品種ができるまで」は点図化した。	触覚による把握
	70	図	修正	資料オ「全国で作付された米の品種の変化」は、数表化した。「その他」の項目を追加した。(年ごと、作付量の多い順)	理解のしやすさ
	71	グラフ	修正	資料カ「新潟県での、10アール当たりの米の生産量の変化」は、点図化した。「資料キ」のグラフと見開きにし、比較しやすいようにした。	触覚による把握
	71	グラフ	修正	資料キ「米づくりの作業時間の変化」は、点図化(総時間のみ)、および数表化(作業別の時間)した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	71	写真	補足	資料ク「昔の田植えの様子」に次のように説明を加えた。 「たくさんの人が協力して手作業で田植えをしている。」	理解のしやすさ
	72	グラフ	修正	「ウ. 主な農業機械の広まり」は、点図化した。	触覚による把握
	72	コラム 写真	修正	「主な農業機械」は、写真の位置に合わせて移動している。	理解のしやすさ

5年	73	写真	修正 補足	資料ケ「耕地整理を行った三輪さんの水田」の説明を次のように補足・修正した。 「整理前の水田はあぜをはさんで4枚の水田に分かれています。整理ずみの水田は、水田をつなげて…」	理解のしやすさ
	73	図	修正 補足	資料コ「用水路や排水路のしくみ」は、次のように文章化した。 「水田の地下には用水路のパイプが埋められています。その用水路は、川の水をひく太いパイプにつながっており、各水田のパイプの入り口にはバルブがあります。また、各水田には排水口があり、外の排水路につながっています。」	理解のしやすさ
	74	図	修正 補足	資料ア「カントリーエレベーターのしくみ」は、次のように文章化した。 収穫したもみをトラックでカントリーエレベーターに運んでいきます。カントリーエレベーターの中は機械化されており、運ばれたもみは、 1. 荷受け 2. 乾燥 3. 貯蔵 (…) 4. 玄米にして袋づめの順で、流れていきます。袋詰めされた玄米は、トラックで出荷されます。	理解のしやすさ
	74～75	図 地図	修正 削除 補足	資料イ「米がとどくまで」は、「1. 流通経路」と「2. 南魚沼からの輸送」に分け、タイトルを追加した。流通経路は、色別に4つに分けて文章化した。南魚沼からの輸送は、地図を削除し、次のように文章化した。 高速道路や国道を通過して、トラックで、東京や京都、札幌、福岡などに運ばれます。	理解のしやすさ

5年	76	グラフ	修正	資料ア「米の消費量と生産量の変化」は、「米の生産量の変化」と「米の生産量の変化」の2枚に分けて点図化した。 1965年から10年ごとのデータに精選し、2枚を見開きにして比較しやすいようにした。	理解のしやすさ 触覚による把握
	77	グラフ	修正	資料ウ「米の作付面積の変化」は、点図化した。「資料エ」のグラフと見開きにし、比較しやすいようにした。年のデータは、「資料エ」のグラフに合わせ、精選した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	77	グラフ	修正	資料エ「農業で働く人の数の変化」は、点図化（総数）、および数表化（年代別）した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	80	表	修正 追加	表「調べて分かったことを関連づけて、表に整理しよう。」の説明を次のように追加・補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>米づくりの様子について調べたア.～エ.について、それぞれ、昔と今でどう変わったか（変化）、関係する人々の工夫や努力（工夫・努力）、の項目に分け、関連付けて整理します。</p> </div> <p>表の内容を次のように項目立てて表した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ア. 水田の形 （変化）小さく入り組んだ形→広く四角い形 （工夫・努力）耕地整理が進められた。</p> <p>イ. 作業時間 （変化） （工夫・努力）</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足
	81	表	修正	表「調べたことをもとに、理由を考えよう。」は、○▽□をア、イ、ウにして、項目ごとに表した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	81	ふきだし	修正	先生のふきだしを次のように修正した。 「『…が大切だと思う。なぜなら…』という言葉を使って、ノートに文章を書き表しましょう。」	理解のしやすさ
	82	ふきだし	修正	資料ア「飲食店で見かける水産物」にかかるふきだしを、編集の原則に合わせ、本文中に移動した。	理解のしやすさ
	82	絵	修正	資料ウ「家庭でよく食べる水産物」は、絵を削除し、水産物名を列記した。	理解のしやすさ

5年	83	地図	修正	資料オ「日本の主な漁港と、水あげされる主な水産物の量」は、次のように4つに点図化，数表化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①点図（地図）「日本近海の海流と主な漁港」 海流名，海の名前，寒流・暖流，主な漁港の位置を示した。（親潮，黒潮の説明を含む）</p> <p>②表「日本の主な漁港と，水揚げされる主な水産物の量」</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">(例) 主な漁港</th> <th style="text-align: left;">水揚げ量</th> <th style="text-align: left;">主な水産物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>網走（北海道）</td> <td>5. 9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>根室（北海道）</td> <td>5. 7</td> <td>さんま</td> </tr> </tbody> </table> </div>	(例) 主な漁港	水揚げ量	主な水産物	網走（北海道）	5. 9		根室（北海道）	5. 7	さんま	理解のしやすさ 触覚による把握
	(例) 主な漁港	水揚げ量	主な水産物											
	網走（北海道）	5. 9												
	根室（北海道）	5. 7	さんま											
	84	地図	修正 削除	資料ア「北海道根室市」は，日本地図を削除し，地域の地図のみ点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握									
	84	絵	削除	資料イ「さんま漁の様子」は，削除した。	指導者による補足（必要に応じて）									
	85	図	修正	資料オ「魚の群れをさがす機械」は次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「超音波を発信・受信する機会（…）で，船底から超音波を発信し，画面で魚の群れの位置を確かめる。」</p> </div>	理解のしやすさ									
85	図	修正	資料カ「根室港で水あげされる主な魚」は，表にした。	理解のしやすさ										
86	グラフ	修正	資料イ「根室市の人たちがしている仕事」は，数表化した。	理解のしやすさ										
88 ～89	図	修正	資料「さんまがとどくまで」は，次のように項目立てて，文章化した。ア～エの写真の説明は適宜，文章中に差し込んだ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 1日目</p> <p>午前4時～6時 水揚げ</p> <p>午前9時 せり</p> </div>	理解のしやすさ										

5年	88	地図	修正 削除 補足	資料オ「根室のさんまを輸送する主な交通機関」は、文章化をした。 ①点図（地図）は削除した。 ②輸送する交通機関と経路についての説明を次のようにまとめた。北海道外の都市名には都道府県名を補足した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足（距離感 は示せていないので、補足 が必要）
				<p>1. トラック</p> <p> 高速道路や国道を通過して、日本各地へ</p> <p>2. 航空機</p> <p> 千歳～東京</p> <p> 千歳～東京～大阪</p> <p> 千歳～東京～福岡</p> <p> 千歳～福岡</p> <p>3. フェリー</p> <p> 小樽～敦賀（福井県）</p> <p> 小樽～舞鶴（京都府）</p> <p> 苫小牧～八戸（青森県）</p> <p> 苫小牧～大洗（茨城県）</p>	
	89	グラフ	修正	資料カ「国内の交通機関別の貨物輸送量」は点図化した。	触覚による把握
	90	地図	修正 削除	資料ウ「鹿児島県長島町」は、日本全図を削除、地域の地図のみを点図化した。	触覚による把握 指導者による補足（暖流については、原典教科書83ページの地図を参照）
	90	グラフ	修正	資料エ「養殖ぶりの都道府県別の生産量」は、数表化した。	理解のしやすさ
	90	図	修正	「オ. 成長によって名前が変わる『出世魚』」は、絵を削除し、文章化した。	理解のしやすさ
	91	図	修正	「ク. 漁港で行われるぶり養殖の一日の仕事」は、「1. ぶりの出荷」と「2. ぶりの育成」に分けて、文章化した。	理解のしやすさ
	92	グラフ	修正	「ア. さんまの生産量の変化」は、点図化した。イと見開きにし、比較しやすくした。	理解のしやすさ 触覚による把握
	92	グラフ	修正	資料イ「養殖ぶりの生産量の変化」は、点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握

5年	92	図	修正	資料ウ「さんまの群れのおおまかな移動経路」は、点図化した。	触覚による把握
	92	グラフ	修正	資料エ「日本の漁業生産量と水産物輸入量の変化」は、点図化した。	触覚による把握
	93	地図	修正	資料カ「根室市と北方領土の島々」は、点図化した。	触覚による把握
	94	グラフ	修正	資料ア「世界の水産物の消費量の変化」は、点図化した。	触覚による把握
	94	地図	修正	資料イ「200海里水域と日本の漁業の生産量」は、「日本と世界の200海里水域」と「漁場別にみた日本漁業の生産量と主な水産物」の二つに分けて点図化した。 「漁場別にみた日本漁業の生産量と主な水産物」は、点図には海洋名と生産量を入れた。主な水産物と漁場は次のように列記した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>主な水産物と漁場</p> <p>北大西洋 まぐろなど</p> <p>南大西洋 マグロなど</p> <p>インド洋 まぐろ、かつおなど</p> <p>南太平洋 いかなど</p> <p>北太平洋 かつお、マグロなど</p> <p>日本近海 イワシ、サバなど</p> </div>	理解のしやすさ 触覚による把握
95	写真	補足	資料エ「国際的な団体がみとめた水産物の表示」は、写真から読み取れる内容を次のように説明に加えた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>二つの認証シール：「海のエコラベル 持続可能な漁業で獲られた水産物 MSC認証」「責任ある養殖により生産された水産物 a s c 認証」</p> </div>	理解のしやすさ	

5年	96	地図	修正	<p>資料エ「養殖業のさかんな地域と水産資源を守り育てるための研究所」は、次の二つに分けて点図化及び文章化した。</p> <p>「養殖業の盛んな地域」は点図化し、主な養殖地の位置を示した。養殖されている水産物は、次のように説明として列記した。</p> <table border="1" data-bbox="555 562 1102 725"> <tr> <td>北海道</td> <td>ホタテ、昆布類</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>ホタテ</td> </tr> <tr> <td>岩手県</td> <td>わかめ</td> </tr> </table> <p>「水産資源を守り育てるための研究所」は、主な栽培漁業や養殖技術の研究所がある都道府県名を列記した。</p>	北海道	ホタテ、昆布類	青森県	ホタテ	岩手県	わかめ	理解のしやすさ 触覚による把握								
	北海道	ホタテ、昆布類																	
	青森県	ホタテ																	
岩手県	わかめ																		
96	図	修正	<p>資料オ「完全養殖のしくみ」は絵を削除し、次のように文章化した。</p> <table border="1" data-bbox="555 1003 1102 1317"> <tr> <td>1. 海で親魚や稚魚をとってくる</td> </tr> <tr> <td>2. 県や会社などの施設で、「親魚を育てる」 →産卵→ふ化→稚魚を育てる</td> </tr> <tr> <td>3. 育てた稚魚を養殖場に出荷したり、施設内で親魚に育てて産卵させたりする</td> </tr> <tr> <td>4. 養殖場で親魚に育て、市場や店に出荷する</td> </tr> </table>	1. 海で親魚や稚魚をとってくる	2. 県や会社などの施設で、「親魚を育てる」 →産卵→ふ化→稚魚を育てる	3. 育てた稚魚を養殖場に出荷したり、施設内で親魚に育てて産卵させたりする	4. 養殖場で親魚に育て、市場や店に出荷する	理解のしやすさ											
1. 海で親魚や稚魚をとってくる																			
2. 県や会社などの施設で、「親魚を育てる」 →産卵→ふ化→稚魚を育てる																			
3. 育てた稚魚を養殖場に出荷したり、施設内で親魚に育てて産卵させたりする																			
4. 養殖場で親魚に育て、市場や店に出荷する																			
97	コラム 写真 図	修正	<p>コラム「水産資源を計画的に守る取り組み」は、写真や図の位置に合わせて移動した。</p> <p>資料キ「計画的なほたての量の流れ」は、次のように表に表した。</p> <table border="1" data-bbox="555 1576 1102 1868"> <thead> <tr> <th></th> <th>稚貝をまく</th> <th>成長した貝をとる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁場1</td> <td>2020年</td> <td>2023年</td> </tr> <tr> <td>漁場2</td> <td>2021年</td> <td>2020年</td> </tr> <tr> <td>漁場3</td> <td>2022年</td> <td>2021年</td> </tr> <tr> <td>漁場4</td> <td>2023年</td> <td>2022年</td> </tr> </tbody> </table>		稚貝をまく	成長した貝をとる	漁場1	2020年	2023年	漁場2	2021年	2020年	漁場3	2022年	2021年	漁場4	2023年	2022年	理解のしやすさ
	稚貝をまく	成長した貝をとる																	
漁場1	2020年	2023年																	
漁場2	2021年	2020年																	
漁場3	2022年	2021年																	
漁場4	2023年	2022年																	

5年	97	写真	補足	資料ク「多くの人においしさを知ってもらう取り組み」の「根室市→東京」「長島町→東京」の説明として次の文章を付け加えた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>根室市や長島町から東京に来て、テントや屋台などを出し、たくさんの人に食べてもらう機会を設けています。</p> </div>	理解のしやすさ
	98～99	まとめる	修正	「カード」の活用を、「ノート」や「箇条書き」などの表現に適宜変更した。	理解のしやすさ 指導者による補足（個々の実態合わせて、分類や整理の仕方を工夫する）
	101	地図	修正 削除	資料イ「宮城県気仙沼市と大川」は、日本全図を削除し、地域の地図のみを点図化した。	触覚による把握
	102	グラフ	修正	資料ウ「藍住町周辺の気温と降水量」は、点図化した。	触覚による把握
	102	図	修正	資料エ「にんじんづくりカレンダー」は、文章化した。	理解のしやすさ
	102	グラフ	修正	資料オ「春にんじんの都道府県別生産量」は、数表化した。	理解のしやすさ
	103	グラフ	修正	資料ク「高知市の気温と降水量」は、点図化した。	触覚による把握
	103	図	修正	資料ケ「なすづくりカレンダー」は、文章化した。	理解のしやすさ
	103	地図	修正 削除	資料サ「各地へ運ばれる野菜」は、地図を削除し、次のように文章で表した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>高知から主に東京や大阪などの大きな消費地へ、トラックではこびます。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足（原典教科書88ページの地図を必要に応じて活用）
	104	グラフ	修正	資料イ「岩手町周辺の気温と降水量」は、点図化した。	触覚による把握
	105	図	修正	資料エ「キャベツづくりカレンダー」は、文章化した。	理解のしやすさ
	106	グラフ	修正	資料ア「甲州市の気温と降水量」は、点図化した。	触覚による把握
	106	図	修正	資料エ「ぶどうづくりカレンダー」は、デラウエア、巨峰、甲州の比較ができるよう表に表した。	理解のしやすさ
	106	地図	修正	資料オ「山梨県甲州市」は、点図化し、主な道路・鉄道、農園、駅、文化館、ワインセンターを示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
107	図	修正	「ク. あか牛の飼育・出荷の流れ」は、文章化した。	理解のしやすさ	

5年	107	グラフ	修正	資料ケ「阿蘇市の気温と降水量」は、点図化した。	触覚による把握
	107	グラフ	修正	資料コ「国内で使われる飼料の量」は、数表化した。	理解のしやすさ
	108	グラフ	修正 削除	資料ア「さまざまな食料の輸入の割合」は、グラフを削除し、数表化した。資料に関係するふきだしを資料に合わせて移動した。	理解のしやすさ
	108	地図	修正 削除	資料イ「日本が食料を輸入している主な相手国」は、地図を削除し、国ごとに輸入している食料を列記した。 (国名の50音順)	理解のしやすさ
	109	グラフ	修正	資料ウ「主な食料の生産量の変化」、資料エ「主な食料の自給率の変化」は、「肉、野菜」と「果物、魚、小麦」に分けてそれぞれ2枚の点図にした。データを精選し、1980年、1990年、200年、2010年、2015年のデータで表した。 「資料ウ」、「資料エ」を見開きし、比較しやすいようにした。	理解のしやすさ 触覚による把握
	110	グラフ	修正	資料ア「国産と外国産の食料の値段」は、数表化した。	理解のしやすさ
	112	グラフ	修正	資料ウ「農業を営む会社の数の変化」は点図化した。	触覚による把握
	113	地図	修正	資料キ「2005年より後に生育が進んだ、新しい小麦の品種と主な産地」は地図を削除し、品種ごとに生産している主な都道府県名を列記した。(品種名の50音順)	理解のしやすさ
	113	コラム 写真	修正	コラム「食料生産とくらしや国土とのつながり」は、写真に合わせて、移動した。	理解のしやすさ
	116	地図 説明	修正 削除	資料ア「大阪府が認証した『なにわの伝統野菜』」は、地図を削除し、文章化した。枠ごとに、列記した。(都市名の50音順) くわいの説明は、最後に挿入した。	理解のしやすさ
117	地図	修正 削除	資料エ「兵庫県明石市」は、日本全図を削除し、地域の地図のみを点図化し、兵庫県と明石市の位置を示した。	触覚による把握	

5年	118	絵	削除 追加	<p>「さまざまな工業製品」は、絵を削除して、次のように描かれているものを列挙した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>冷蔵庫, 炊飯器, 鍋, 電気湯沸かし器, 携帯端末, 玉杓子, ストレーナー, フライ返し, 鍋, ガスコンロ, 食器用洗剤, コップ, 皿, フォーク, スプーン キッチンカウンター, 蛇口, 流し, 計量カップ, ボウル, 箸, 包丁, 俎板, 布巾, 食品用ラッピングフィルム, 食器棚, 床板, 壁, 洋服, スリッパ, 加工食品など</p> </div>	理解のしやすさ
		絵	削除 修正	<p>絵を削除し、次のように文章化した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>資源を加工して、人々の役に立つものを組み立てます。</p> </div>	理解のしやすさ
	119	図	修正	資料ク「日本で生産されている工業製品の種類」は数表化した。	理解のしやすさ
	120	図	修正	資料ク「日本の自動車の生産台数の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	121	グラフ	修正	資料ケ「世界の自動車生産に占める、国ごとの割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	122	地図	削除 修正	資料イの日本地図は削除し、「福岡県と苅田町」とタイトルを修正し、点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	123	図	削除 修正	資料ウ「自動車工場の配置図」の図は削除し、工場名を羅列し、補足説明を表記した。	理解のしやすさ 指導者による説明
	127	図	削除 追加	資料カ「一日のスケジュール」は、図を削除し、朝・夜からの勤務の時間、食事の時間、休憩の回数についての説明を追加した。	理解のしやすさ
	128	図	修正	<p>資料エ「シート工場の位置」は図を削除し、次のように文章化した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>シート工場は、自動車工場の近くにあります。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による説明

5年	129	絵図	削除 修正	資料カ「自動車工場と関連工場の結びつき」の絵を削除し、自動車工場，第一次関連工場，第二次関連工場，第三次関連工場の流れがわかるようにことばだけで点図化した。	理解のしやすさ 指導者による説明
	131	絵図	削除	資料ウ「自動車を運ぶ専用船」は絵を削除した。	理解のしやすさ 指導者による説明
		地図	削除 追加	資料ク「自動車の輸送の様子（福岡県苅田町の場合）」は地図を削除し，船の航路，キャリアカーだけで運ぶ地域のそれぞれの都市名・地方名を表記した。	理解のしやすさ 指導者による説明
	136	吹き出し	修正	吹き出しの内容を次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>特に印象に残ったことにシールを貼ると考えやすくなるよ。</p> </div>	理解のしやすさ
	138	グラフ	修正	資料イ「世界の鉄鋼生産量にしめる，国ごとの割合」は数表化した。	理解のしやすさ
		地図	削除 修正 追加	資料ウ「日本各地の主な製鉄所」は削除し，製鉄所の都市名を表にした。	理解のしやすさ
	139	絵	削除 追加	資料カ「鉄ができるまで」は絵を削除し次のように文章化した。	理解のしやすさ 指導者による説明
	140	図	修正	資料イ「世界の鉄鋼生産額にしめる国ごとの割合」は数表化した。	理解のしやすさ
		図	削除 追加	資料ウ「日本各地の製油所，石油化学コンビナート」は削除し，それぞれの都市名を補う	理解のしやすさ
	141	絵図	削除 修正	絵図「石油の加工の流れ」は絵を削除し，次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>輸入された原油は，加熱炉であたためられ，蒸留塔で石油製品のナフサになります。ナフサ分解工場で分解されたナフサは，プラスチック，合成せらい原料，合成ゴムなどの原料になり，製品を作る工場ですさまざまな工業製品になります。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による説明

5年	142	絵図	削除 修正	資料ア「日本の自動車の主な輸出先」の地図は削除し、輸出先の国名、台数を表にした。	理解のしやすさ 指導者による説明
	143	グラフ	修正	資料エ「国内で使う原油に占める輸入の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	144	絵図	削除 修正	資料ア「主な輸出品の輸出相手先」の地図は削除し、輸出品、輸出先の国名、台数を表にした。	理解のしやすさ
		図	修正	資料イ「日本の主な輸出品の変化」は、数表化した。	理解のしやすさ 指導者による説明
		写真	削除	資料ウ「I C（集積回路）」は削除した。	理解のしやすさ 指導者による説明
	145	絵図	削除 修正	資料エ「主な輸入品の輸入相手先」の地図は削除し、輸出品、輸出先の国名、台数を表にした。	理解のしやすさ
	146	グラフ	修正	資料ア「主な原料や原料の輸入の割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
	146	グラフ	修正	資料エ「主な工業製品の輸出の割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
	147	図	削除 修正	資料カ「日本のおもな貿易相手先」の地図を削除し、国・地域別に、日本への輸入額・日本からの輸出額を数表化した。	理解のしやすさ 指導者による説明
	148	地図	修正	資料カ「原油タンカーの航路」は、点図化した。ペルシヤ湾、マラッカ海峡の文字は削除した。日本まで20日かかることを追加した。	触覚による把握 指導者による説明
149	グラフ	修正	資料ク「港別にみた貿易額」は数表化した。	理解のしやすさ	
149	図		資料ケ「日本の主な道路・鉄道・港・空港」は、主な鉄道と空港で1枚、高速道路・国道と港で1枚に点図化し、それぞれ都市名は東京のみ示す。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による説明	

5年	150	学びの てびき	修正	<p>「活動」を次のように一部変更した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 日本1枚, 外国2枚の紙を用意する。</p> <p>② 外国の紙に, 日本への主な輸入品や輸入相手先を書く。…日本に向けて矢印を引き→日本との関係を考え</p> <p>③ 日本の紙に…</p> <p>④ 外国の紙に…日本から矢印を引き出し→日本との関係を考え</p> <p>⑤ 輸出品と日本に書いたものとの関係を考える。</p> <p>⑥ 3枚の紙をたてにつなぎあわせる。</p> </div>	理解のしやすさ指導者による説明
	151	本文	削除	本文の「さくらさんたちは流れ図を見ながら」の「流れ図を見ながら」を削除した。	理解のしやすさ
	152	図	削除	資料イ「工業製品（おかし）に示されている産地」は削除した。	理解のしやすさ 指導者による説明
	152	図	削除	資料ウ「工業製品（パソコン）の外箱に示されている生産国」は削除した。	理解のしやすさ 指導者による説明
	152	地図	削除	資料アの日本地図は削除した。北海道苫小牧市など、4市町のそれぞれの工業製品と、輸入している工業製品と輸入元の国名を言葉で説明した。	理解のしやすさ 指導者による説明
	153	絵	削除	資料エ「工業の種類」の絵は削除した。	理解のしやすさ 指導者による説明
	154	地図	修正 追加	資料エ「工業のさかんな地域や都市」は点図化し、その他の主な工業都市についてはまとめて表にした。	触覚による把握 理解のしやすさ
	156	グラフ	修正	資料ウ「国内の工業生産額の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	156	グラフ	修正 追加	資料ウ「工業地帯・地域別の工業生産額」は地帯・地域ごとに数表化した。	理解のしやすさ
	157	地図	削除 追加	資料キ「工業が多く集まる地域」は地図を削除し、都市名を羅列した。	理解のしやすさ
	158	グラフ	修正	資料ア「主な電化製品の国内生産台数の変化」は、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	158	グラフ	修正	資料イ「国内の工場数と、工場で働く人の数の変化」は、それぞれ数表化した。	理解のしやすさ

5年	158	グラフ	修正	資料ウ「外国にある日本の会社の数の変化」は点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	160	グラフ	修正	資料ア「日本の自動車の国内生産台数と海外生産台数の変化」は、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	161	絵図	削除 追加	資料ウ「世界に広がる日本の自動車会社の工場と、各地域での生産台数」は、絵図を削除し、6地域別の国名と生産台数を表にした。	理解のしやすさ
	162	地図	修正	資料オ「大阪府東大阪市」は、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	163	写真	削除 追加	資料ク 原典の説明のあと、「光ファイバーケーブルのまわりは、3本の鉄線が組み合わさって保護されています。」を追加した。	理解のしやすさ 指導者による説明
	168	グラフ	修正	資料ア「日本のエネルギー消費量の割合の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	170	絵	修正 補足	資料ア「町の中で受け取る情報・あつかう情報」は、次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>駅前前の街の様子です。</p> <p>駅には、切符やICカードを使って、改札機を通っている人がいます。駅の建物の壁には、駅の番号や駅名が表示されています。また、時計や、看板（〇〇コーヒー、→70m）、非常口の表示もあります。駅前前の道路には、点字ブロックがあります。</p> <p>駅前前の広場には、バス停（駅名や時刻表の表示）、公衆電話ボックス、今月のイベントやタウンマップの掲示板、時計、気温を表示するものがあります。止まっているバスには、大通り病院と表示されています。ベンチに座ってスマートフォンを見ている人、タブレットを見せながら外国人と話をしている人、タウンマップのQRコードにスマートフォンをかざしている人がいます。</p> <p>駐車場には、身体障害者マークの表示があり、近くのビルの屋上には、看板（駅から2分の英会話）があります。宅配便の荷物を配達している人もいます。</p> <p>スーパーマーケットには「新装開店」「セール」などの表示があり、店の中では、お客さんが、スマートフォンをレジにかざしています。</p> </div>	理解のしやすさ

5年	170	絵	修正 補足	資料イ「家の中で受け取る情報・あつかう情報」は、次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>家のリビングルームで、家族（父母兄妹）がくつろいでいます。</p> <p>お母さんは、テレビのリモコンを持っています。お父さんは、タブレット端末を見ている。兄は携帯電話で話をしています。妹は本を読んでいます。</p> <p>部屋の壁には、カレンダーや時計がかかっており、テレビ、ラジオ、ファックスがあります。テーブルの上には、新聞や雑誌が置いてあります。</p> </div>	理解のしやすさ
	171	学びの てびき	修正	タイトルを「身のまわりにある情報を見つけ、自分と情報とのつながりをみつける」に修正し、「活動」の一部を変更する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2. 「表に整理する」→「項目に分けて、簡潔に書く」に修正。</p> <p>3. 「イラストから見つけた」→「ノートに書いた」、「よく見かけたり」→「身のまわりにあたり」、「○を付ける」→「シールなどでしるしを付ける」に修正。</p> <p>4. 「イラストから見つけたことをもとに」を削除。</p> </div>	理解のしやすさ指導者による補足
	171	ノート	修正	学びのてびきにあわせて移動した。	理解のしやすさ
	172	図	修正	資料イ「ニュースを得るときに利用するメディア」は数表化した。	理解のしやすさ
	173	図	修正	資料ウ「テレビ放送がとどくしくみ」を次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 放送局が発信した電波は、電波塔や中継局を経て、家のアンテナに届く。</p> <p>2. 放送局が発信した電波は、直接ケーブルテレビ局のアンテナに届いたり、電波塔を経て、ケーブルテレビ局のアンテナに届いたりする。そして、ケーブルテレビ局からケーブルを通して家へ送信される。</p> <p>3. 1または2のようにして、家に届いたテレビ放送を、テレビや、パソコン、スマートフォンなどで見ることができる。</p> </div>	理解のしやすさ

5年	173	グラフ	修正	資料オ「テレビの1週間の放送内容」を数表化した。	理解のしやすさ
	175	写真	追加	資料イへくに、「ニュース番組ができるまで」のタイトルを追加した。	理解のしやすさ
	176 ～177	図 写真	修正 補足	資料ア「ある日のニュース番組が放送されるまで」を、 1.取材記者, 2.編集・制作, 3.アナウンサーに分けて, 文章化した。	理解のしやすさ
	179	図	修正 補足	資料エ「テレビ放送の情報から受けるえいきょうの例」は, 状況の説明を補足して文章化した。	理解のしやすさ
	180	グラフ	修正	資料ア「情報通信機器を持っている家庭の割合」を点 図化した。	触覚による把握
	184	図 写真	修正 補足	資料ア「新聞の朝刊がとどくまで」を, 1.編集局の記者たち, 2.編集局のデスク・編集センター, 3.製作センター(印刷工場)に分けて, 文章化した。	理解のしやすさ
	187	グラフ	修正	資料カ「ICカードでの支はらいの回数の変化」は, データを2年ごとに精選し, 点図化した。	触覚による把握
	187	グラフ	修正	資料キ「インターネットショッピングの売り上げ額の変化」は, データを2年ごとに精選し, 点図化した。	触覚による把握
	188	図 写真	修正 補足	資料ア「店のPOSシステム」は, 文章化した。	理解のしやすさ
	189	図 地図	修正 補足 追加	資料エ「チェーン店と本部や物流センターとのつながり」は, 文章化した。 関連資料「全国の物流センター」の地図は, タイトルを追加し, 点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	190	図 写真	修正 補足 追加	資料ア「ある店の仕入れの数の変化」は, 文章化した。 二つの表は, タイトル「データ活用前と活用後の仕入れ数の変化」を追加し, 一つの表にまとめた。	理解のしやすさ
	191	図	修正 補足	資料ウ「ポイントカードの利用によって集まり, 生かされる情報」は, 文章化した。	理解のしやすさ
192	グラフ	修正	資料ア「日本を訪れる外国人観光客数の変化」は, データを2年ごとに精選し, 点図化した。	触覚による把握	
192	グラフ	修正	資料イ「外国人観光客が日本での旅行中にこまったこと」は, 数表化した。	理解のしやすさ	

5年	193	図	修正 補足	資料オ「観光旅行と情報通信技術」は、文章化した。	理解のしやすさ
	193	地図	修正	資料カ「データを生かして観光による地域づくりを進める団体の広がり」は、点図化した。団体の区別をせずに位置のみを表した。	触覚による把握 北方領土、竹島、尖閣諸島は省略してある。
	194	グラフ	修正	資料イ「情報サービスに関する仕事につく人の数の変化」は、2年ごとのデータに精選し、数表化した。	理解のしやすさ
	194	グラフ	修正	資料ウ「インターネットで世界中を流れる情報量の変化」は、点図化した。	触覚による把握
	195	図	修正 補足	資料キ「情報通信技術を利用するなかで不安に感じることの例」は、状況の説明を補足して文章化した。	理解のしやすさ
	196 ～197	まとめる	修正 補足	学習の整理の仕方は、カードや表の活用しない方法に修正した。	理解のしやすさ 指導者による補足（個々の実態に合わせた、学習の整理の仕方）
	197	学びの てびき	修正	学習活動の流れにあわせて、移動した。	理解のしやすさ
	198	グラフ	修正	資料ア「全国の救急車で病院に運ばれた人の数」は、データを2年ごとに精選し、数表化した。	理解のしやすさ
	198	図	修正	資料エ「佐賀県の医療情報ネットワークの広がり」は、文章化した。	理解のしやすさ
	199	図	修正 補足	資料オ「佐賀県内の医療施設どうしのつながり」は、文章化した。	理解のしやすさ
	199	地図	修正	資料カ「佐賀県内の医療情報ネットワークを利用する施設」は、点図化し、施設の区別をせずに、位置のみを示した。	触覚による把握
	199	グラフ	修正	資料キ「一人であらう高齢者の人口の変化」は、点図化した。	触覚による把握
	199	図	修正	資料ク「高齢者を見守る情報通信技術の例」は、文章化した。	理解のしやすさ
200	グラフ	修正	資料ア「トラックによる宅配便の取りあつかい個数」は、データを2年ごとに精選し、数表化した。	理解のしやすさ	

5年	200	グラフ	修正	資料イ「トラックで荷物を運ぶ仕事についている人の数」は、データを2年ごとに精選し、数表化した。	理解のしやすさ
	200	図 写真	修正	資料ウ「注文から配達までの流れ」は、文章化した。	理解のしやすさ
	203	写真	削除	衛星写真は削除した。	理解のしやすさ
	204	地図	修正 追加	琵琶湖周辺を境に、東北日本。西南日本の2枚の地図に分けて点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ 北方領土、竹島、尖閣諸島等は省略してある。
	205	学びの てびき	修正	学びのてびきの内容を次のように修正した。 2. 「写真」を「資料」に修正した。 3. 「地図中の□に色をぬったりマークを描いたりする。」を、「発生場所を地図で確かめる。」に修正した。	理解のしやすさ
	205	グラフ	修正	資料ケ「世界の自然災害の被害額にしめる日本の割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
	206	図	修正	資料ウ「国の調査による地震の予測」は、26%以上の地域を塗り、点図化した。	理解のしやすさ 指導者による補足 北方領土、竹島、尖閣諸島等は省略してある。
	207	図	修正	資料オ「日本で発生した大きな自然災害」は、地震・津波、台風・大雨、その他のそれぞれ表にした。	理解のしやすさ
	209	地図	修正	資料オ「岩手県宮古市田老地区」は、サーモフォームにて、海岸線、防潮堤、50mの等高線を境に立体化した。	触覚による把握
	209	絵図	削除 修正	資料カ「自然災害に強い街づくりの例」は、絵を削除し、箇条書きで示した。	理解のしやすさ 指導者による補足
210	グラフ	修正	資料ウ「地震のゆれに強いつくりにした学校の数の変化」は数表化した。	理解のしやすさ	
211	地図 絵図	削除 修正	資料オ「緊急地震速報のしくみ」の、絵図は削除し、7地方ごとに地震計の数を数表化し、「地震が起きる」は模式図を簡略化し点図化した。	理解のしやすさ	

5年	212	グラフ	修正	資料ウ「非常にはげしい雨の発生回数」は、数表化した。	理解のしやすさ
	214	まとめる	削除 修正 追加	2. 「調べてわかったことを表に整理しよう」を「調べてわかったことを整理しよう」に修正し、内容については次のように修正した。 種類別に、(1) 発生している場所、(2) 発生と関連がある国土の自然条件、(3) 自然災害への対策をそれぞれ整理しよう。	理解のしやすさ
				3. 「整理した表をもとに」を「整理した内容をもとに」に修正した。 ア. 自然災害の発生と…、「横に」を「自然災害の種類別に」に修正した。 イ. 大規模な自然災害への対策には…、「たてに」を「発生場所、自然条件、対策ごとに」に修正した。	
	216	グラフ	修正	資料イ「日本の国土の土地利用の割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
	216	グラフ	修正	資料ウ「世界各国の、国土に占める森林の割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
	218 219	写真	削除 追加	森林に入ってみようの写真は削除し、タイトル「(2) 日本の国土と森林2」を追加した。	理解のしやすさ
	220	地図	削除 追加	資料ウ「高知県における森林の広がり」は、削除し、高知県と土佐町の位置を点で示し、「高知県と土佐町」とタイトルを追加した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	221	絵図	削除 追加	資料オ「森林があると…」資料カ「森林がないと…」は、川の水、動物、山の様子、植林、余暇の場等に関して、対比できるようにそれぞれ箇条書きで記載した。	理解のしやすさ
	222	グラフ	修正	資料ウ「天然林と人工林の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
223	木の年令	修正	資料「の年令」は、次のように修正した。 1. 苗木を育てる(木の年令: 0) 2. 植林(0~10) 3. 下草刈り・除伐(10~20) 4. 間伐(20~50) 5. 伐採、運搬(50~80)	理解のしやすさ 指導者による補足	

5年	223	グラフ	修正	資料コ「林業で働く人の数の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	224	グラフ	修正	資料ア「国内の木材使用量の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	226	グラフ	修正	資料ウ「森林保全に関わるボランティア団多数の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	227	絵図	修正	資料カ「森林と人々の暮らしとのつながり」は、	理解のしやすさ
	228	まとめる	修正	2. 調べて分かったことを「見やすく」を「わかりやすく」整理しよう、に修正した。	理解のしやすさ
	228	まとめる	修正	3. 「関係図に整理して」を「関係を整理して」に修正した。 イ. 「下の矢印に書き出そう」を「書き出そう」に修正した。	理解のしやすさ
	230	地図	削除 修正 追加	資料ウ「福岡県北九州市」は、日本地図を削除し、点図化し、「福岡県と北休止」のタイトルを追加した。	触覚による把握理解のしやすさ
	234	グラフ	修正	資料ア「洞海湾のさまざまな地点での水質観測結果」は、4つの地点における10年ごとのデータを数表化した。	理解のしやすさ
	235	写真	削除 修正	資料オ「さまざまな工場が集まるエコタウン」の写真を削除し、空きかんを処理する施設、家電製品を分解する施設、蛍光管をくたく施設、ペットボトルをくたく施設、自動車を解体する施設を羅列した。	理解のしやすさ
	237	絵図	修正	資料エ「自然環境と私たちの暮らしとの結びつき」は、絵図を削除した。	理解のしやすさ
238	学びの てびき	削除 修正 追加	学びの手引きは、次のように修正した。 2. 「それぞれを矢印でつなぎ」を「それぞれの関係を整理し」に修正し、おたがいにどのようなはたらきかけをしていたか、「矢印」を「関係」に修正した。 3. 「真ん中に」を削除した。	理解のしやすさ	
239	学びの てびき	修正	カードに書く内容「取り組んでいる人、取り組んでいること」を追加した。	理解のしやすさ	

5年	244 ～245	地図	修正	<p>このページの世界地図は、次のように課題を提示し、かつ世界地図を修正した。</p> <div data-bbox="555 427 1101 770" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><文章> 地図帳や地球儀で調べた国，ニュースなどで新たに知った国をノートに書き出そう。</p> <p><地図>大陸別の世界地図を作成し，教科書記述の国に限って国名を入れる。</p> <p>世界全図（南極）→ユーラシア（アジア<5区分図>→ヨーロッパ）→アフリカ→北アメリカ→南アメリカ→オーストラリア の順</p> <p>なお国名が入ることを優先とする。</p> </div>	理解のしやすさ 触覚による把握
	246 ～247	地図	削除 修正	<p>このページの日本地図は表（リスト）にする。</p> <div data-bbox="555 882 1101 1339" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>総務省都道府県コードの順に， 「野菜（赤）」→「畜産（黄）」→「水産（青）」の順（各種類の中は地名の50音順）に掲載した。 （米は独立させている）</p> <p>※地名のみ掲載している場所は削除した。</p> <p>1. 北海道 (1) 野菜 北見盆地 たまねぎ 十勝平野 じゃがいも・てんさい・だいこん… 平取 トマト… 参照ページは削除。</p> </div>	理解のしやすさ
	248 ～249	地図	削除 修正	<p>このページの日本地図は表（リスト）にし、次のように記載した。</p> <div data-bbox="555 1435 1101 1973" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A 太平洋ベルト 以下の県が含まれる。○○地方…△△県，××県 …のように示す)</p> <p>B 工業地帯・工業地域 北から順に，ア. 北海道（道央）工業地域（北海道）…</p> <p>C 総務省都道府県コードの順に，都市名と主な工業製品の順（各種類の中は県庁所在地のあと，地名の50音順）に掲載する ※地名のみ掲載している場所は削除する。</p> <p>1. 北海道 札幌市 乳製品・ビール 旭川市 製紙・パルプ…</p> </div>	理解のしやすさ

5年	250 ～251	地図	削除 修正	<p>このページの日本地図は表（リスト）にし、次のように記載した。</p> <p>総務省都道府県コードの順に、都市名と主な取り組みの順（各種類の中は県庁所在地のあと、地名の50音順）に掲載する。個数も示す。</p> <p>図の説明＝主な取り組み 略記</p> <p>世界遺産条約 <いさん></p> <p>ラムサール条約 <ラム></p> <p>ナショナルトラスト運動 <ナショナル></p> <p>環境未来都市 <みらい></p> <p>環境モデル <モデル></p> <p>1. 北海道</p> <p>ア. いさん 1件（しれとこ）</p> <p>イ. ラムサール 13件</p> <p>ウ. ナショナル 1件（100平方メートル 運動の森・トラスト）</p> <p>エ. みらい 1件（下川町）</p> <p>オ. モデル 3件（帯広市・下川町・ ニセコ町）</p>	理解のしやすさ
----	-------------	----	----------	--	---------

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
6年	6～9	本文	修正	原典教科書6～9ページの4ページを一つの小単元として構成した。資料番号を通しにしたため、8, 9ページの資料ア～オは資料ト～ネに修正した。	単元の構造を明確にするため 単元内の資料の構成を明確にするため
		写真	削除 追加	資料ア～ケについて、「オリンピックの写真」とタイトルをつけ、資料をまとめた。写真を削除し、競技名等を追加した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		写真	削除 追加	資料コ～スについて、「パラリンピックの写真」とタイトルをつけ、資料をまとめ、競技名を追加した。また、写真スの後に次の点を補記した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>オリンピック・パラリンピックは、夏の大会の間の年に冬の大会も開催されています。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足
		絵	修正	資料ソ「オリンピックのシンボル」の旗を点図化した。	触察による把握 理解のしやすさ
		絵	修正	資料テ「パラリンピックのシンボル」の旗を点図化した。	触察による把握 理解のしやすさ
		地図	削除 修正	資料ト「オリンピックやパラリンピックが開催された都市の広がり」の地図を削除した。解説として、開催都市を夏季大会と冬季大会に分け、地域・開催国ごとに、開催された順に示した。また、地域別に開催都市数を表記した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		写真	削除 修正	資料ヌ「ウィルチェアラグビーの競技用の車いす」の写真を削除し、タイトルを「ウィルチェアラグビー競技用の2種類の車いす（攻撃型と守備型）」に修正した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		11	写真	削除 追加	資料オの写真を削除し、「点字ブロック上に駐輪された自転車」とタイトルを追加した。
12	図	修正	資料イ「日本国憲法の三つの原則」について、日本国憲法の三つの原則を文章で示した。	理解のしやすさ	
16	図	修正	資料イ「国民主権の例」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握	

6年	18	絵	削除 修正	資料ア「日本国憲法に定められている国民の権利と義務」の絵を削除し、国民の権利と義務に分けて、文章で示した。	理解のしやすさ
	23	図	修正	資料エ「法律ができるまで」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	24	グラフ	修正	資料ウ「国の予算」を数表化した。	理解のしやすさ
		図	修正	資料エ「内閣と国の主な機関」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	26	図	修正	資料イ「裁判所のしくみ」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	27	図	修正	資料オ「三権分立のしくみ・国民と政治のつながり」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	28	本文	削除	税務署の人の話の一部を削除し、次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>例えば、みなさんの教科書が無償で配られるのは、 ...</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足
		図	修正	資料イ「消費税のしくみ」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	29	図	修正	資料オ「税金の集められ方・使われ方」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	31	図	修正	三権分立のしくみの図を点図化した。	理解のしやすさ
	32	写真	修正	資料アのタイトルを「子・親・祖父母そろっての食事(1977年)」に修正した。	理解のしやすさ
		写真	修正	資料イのタイトルを「公園で過ごす親と子(現代)」に修正した。	理解のしやすさ
	33	グラフ	修正	資料ウ「生まれた子どもの数と、人口に占める65歳以上の高齢者の割合」を棒グラフと折れ線グラフに分けて点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
34	地図	削除 修正	資料ア「東京都世田谷区」の日本地図を削除し、東京都とその周辺を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握 指導者による補足	

6年	37	グラフ	修正	資料カ「『おでかけひろば』の施設の数」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	38	図	修正	資料ア「『おでかけひろば』ができるまで」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	39	図	修正	資料ウ「区（市町村）の政治と住民のつながり」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
		グラフ	修正	資料エ「世田谷区の予算」を数表化した。	理解のしやすさ
	42	地図	修正	資料ア「都道府県別の人口の増減」の地図を削除し、凡例ごとに都道府県を列挙した。	理解のしやすさ
	44	グラフ	削除 追加	資料ア「生まれた子どもの数と、人口に占める65歳以上の高齢者の割合」は原典教科書33ページのグラフの再掲のため削除し、前掲の該当ページのグラフを確認するように指示する文を追加した。	指導者による補足
	45	図	修正	人々の願いが実現するまでの流れの図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
		グラフ	削除	資料イ「世田谷区の予算」は原典教科書39ページの再掲のため、削除した。	指導者による補足
	46	グラフ	修正	資料ア「衆議院議員選挙の投票率」を数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		グラフ	修正	資料イ「参議院議員選挙の投票率」を数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		グラフ	修正	資料ウ「年齢別の投票率」を数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	48	地図	削除 修正	資料イ「東日本大震災の各地の主な震度」の地図を削除し、震度ごとに市区を列挙した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	50	地図	削除 修正	資料ウ「岩手県釜石市」の日本地図を削除し、岩手県とその周辺のみ点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握 指導者による補足
	51	図	修正	資料オ「被災した地域を支援する政治のしくみ」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
53	図	修正	資料オ「復興に向けた市の計画ができるまで」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握	

6年	56	地図	削除 修正	資料ウ「北海道札幌市」の日本地図を削除し、北海道のみ点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握 指導者による補足 北方領土等は省略してある。
		グラフ	修正	資料エ「世界の都市の降雪量と人口の比較」を数表化した。	理解のしやすさ
	59	グラフ	修正	資料オ「除雪の費用の国費の割合」を数表化した。	理解のしやすさ
		図	修正	資料カ「除雪や排雪が実施されるまで」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	61	グラフ	修正	資料エ「さっぽろ雪まつりの来場者数」を数表化した。	理解のしやすさ
		図	修正	資料カ「さっぽろ雪まつりを支える政治のしくみ」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	62	地図	修正	資料イ「川崎市，大阪市，葛飾区の位置」の地図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握 北方領土，竹島，尖閣諸島等は省略してある。
	63	写真	削除	資料ウ「歩行者と自転車の通行を分ける整備が行われた御堂筋」の写真と説明文を削除し，タイトルのみとした。	理解のしやすさ 指導者による補足
	66～67	絵 写真 資料	削除 修正	資料ア～ウ，資料カ～セの絵・写真は削除し，資料エ「選挙権の移り変わり」・資料オ「選挙権の拡大（人口に対する割合）」の資料をそれぞれア・イとした。	理解のしやすさ
	66	資料	修正	資料イ「選挙権の拡大（人口に対する割合）」のグラフは点図化した。	触察による把握
68	資料	修正	学びのてびきの内容を次のように修正した。 インターネットで→インターネットなどから 写真に→録音で	理解のしやすさ	
69	資料	写真 修正	写真を削除し，吹き出しの内容を次のように修正した。 展示を見ただけでは→展示だけでは 出土したものを見ることができるよ。→出土したものが展示されているよ。	理解のしやすさ	

6年		資料	削除	「アイヌの人たちについて」の項目を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (19ページで学習したこと)
		資料	修正	<p>学びのてびきの内容を次のように修正した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>博物館を活用する</p> <p>見て調べる→展示から調べる</p> <p>動画などを見て→動画などから</p> <p>本をさがして→関連する本をさがして</p> <p>歴史年表を活用する</p> <p>横軸を見よう→年代の表し方</p> <p>縦軸を見よう→年表の読み方</p> <p>横軸の時間の流れに合わせて→年表には時間の流れに合わせて</p> </div>	理解のしやすさ
		資料	削除	資料カ「想像図の例(80ページより)」・資料キ「風刺画の例(188ページより)」の絵を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (それぞれの画像資料を学習する際に補足)
		資料	削除	<p>年表の形式が異なるため、学びのてびき「歴史年表を活用する」からゆうまとあおいの吹き出しと、次の文を削除した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>次のページの歴史年表は、1800年までは100年単位で、それ以降は、時間の単位をよりくわしくしてつ くられています。</p> </div>	理解のしやすさ
	69	資料	削除	本文右側の略年表は削除した(他ページも同様)。巻末に該当する時代の略年表を付けた。	理解のしやすさ
68	地図	修正	資料イ「登呂遺跡、北海道白老町の位置」の地図を点図化した。	触察による把握 北方領土、竹島、尖閣諸島は省略してある。	
70～71	資料	修正	歴史年表は「1. 世紀と時代」「2. 日本の年表」に分けた。中国の王朝名は「1. 世紀と時代」に記載した。「主なできごと」の項目についている記号はそれぞれ「政治」「文化」「外国」「人々」の項目名に代えた。人物と、写真で掲載されている文化財も同様の形式で記載した。「世界の主なできごと」は見開きで右ページに記載した。	理解のしやすさ	

6年	72	図	削除 追加	<p>イラストマップを削除し、えがかれた歴史上のできごとや人物、建築物などとその場所（地名等）を一覧で示した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>アイヌの人たちが作った織物〔北海道〕</p> <p>伊能忠敬の測量調査〔全国を測量しました〕</p> <p>五稜郭〔北海道〕</p> <p>三内丸山遺跡〔青森県〕</p> <p>土偶（遮光器土偶）重要文化財〔青森県〕</p> <p>中尊寺金色堂〔岩手県〕</p> <p>野口英世像〔福島県〕</p> <p>松尾芭蕉の俳句をつくる旅〔東北・北陸などを旅しました〕</p> <p>日光東照宮〔栃木県〕</p> <p>富岡製糸場〔群馬県〕</p> <p>歌舞伎〔東京都〕</p> <p>東京タワー〔東京都〕</p> <p>国立競技場（東京オリンピック・パラリンピック）〔東京都〕</p> <p>鉄道の開通〔東京都～神奈川県〕</p> <p>鎌倉の切通し〔神奈川県〕</p> <p>縄文土器（火炎土器）国宝〔新潟県〕</p> <p>加賀藩の大名行列〔石川県〕</p> <p>登呂遺跡〔静岡県〕</p> <p>東海道新幹線〔東京都～大阪府〕</p> <p>長篠の戦い〔愛知県〕</p> <p>安土城〔滋賀県〕</p> <p>けまり〔京都府〕</p> <p>十二単（平安京の貴族の服装）〔京都府〕</p> <p>金閣〔京都府〕</p> <p>銀閣〔京都府〕</p> <p>唐古・鍵遺跡〔奈良県〕</p> <p>東大寺の大仏〔奈良県〕</p> <p>法隆寺〔奈良県〕</p> <p>大仙（仁徳陵）古墳〔大阪府〕</p> <p>厳島神社〔広島県〕</p> <p>原爆ドーム〔広島県〕</p> <p>壇ノ浦の戦い〔山口県〕</p> </div>	<p>理解のしやすさ</p> <p>指導者による補足（それぞれのできごと等の場所の確認）</p>
----	----	---	----------	---	--

6年			<p>人形浄瑠璃〔徳島県〕</p> <p>銅たく〔香川県〕</p> <p>坂本龍馬像〔高知県〕</p> <p>元との戦い〔福岡県〕</p> <p>吉野ヶ里遺跡〔佐賀県〕</p> <p>西郷隆盛像〔鹿児島県〕</p> <p>鉄砲〔鹿児島県〕</p> <p>江戸へ向かう琉球の使節〔沖縄県～東京都〕</p> <p>首里城（琉球王国）〔沖縄県〕</p> <p>☆海上および海外</p> <p>北前船〔日本海の北陸地方沖〕</p> <p>黒船（ペリー艦隊）〔太平洋の伊豆半島沖〕</p> <p>ノルマントン号事件〔太平洋の紀伊半島沖〕</p> <p>オランダ船（出島で貿易）〔長崎県〕</p> <p>遣唐使船〔東シナ海〕</p> <p>朝鮮通信使〔朝鮮～東京都〕</p>		
		地図	削除	「イラストマップのおよその範囲」の地図と説明を削除した。	理解のしやすさ
	73	写真	削除 修正	<p>写真を削除し、資料ウと資料エの写真のタイトルを次のように修正した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ウ. 地震が発生した直後の熊本城</p> <p>エ. 進む熊本城の復旧工事</p> </div>	理解のしやすさ
		資料	削除	「北前船→157ページも見てみよう」の項目を削除した。	理解のしやすさ
	74～77	本文	修正	原典教科書74, 75ページの小単元名を「大昔の暮らしを探ろう 1」に修正し、原典教科書76, 77ページの小単元名を「大昔の暮らしを探ろう 2」として追加した。	単元の構造を明確にするため
	写真	修正 追加	<p>資料ウ「矢じり」の写真を削除し、次の説明を追加した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>弓矢の先として使われた石器です。</p> </div>	指導者による補足 (出土品の形や大きさ)	
	図	修正	資料オ「人々の食べ物（縄文時代）」を表化した。	理解のしやすさ	

6年	75	絵	削除 追加	<p>「狩りや漁をしていたころの様子（想像図）」を削除し、資料カとして次のように文章化して追加した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 集落の様子</p> <p>ア. 20棟ほどの竪穴住居がある。</p> <p>イ. 10棟ほどの倉庫のような建物がある。</p> <p>ウ. 大型の竪穴建物と、物見やぐらのような大型の掘立柱建物が、集落の中央に1棟ずつある。</p> <p>エ. 集落の周りには、森や海が広がっている。</p> <p>オ. 想像図では、森の木が色づき、落ち葉も散っている。</p> <p>2. 人々の様子</p> <p>ア. 狩りの獲物（シカやウサギなど）を担いでいる人。</p> <p>イ. 漁でとった魚を入れたかごを背中に背負っている人。</p> <p>ウ. 船で海に出て、漁をしている人。</p> <p>エ. 木の枝を棒でつついて、木の実を落としている人。</p> <p>オ. 魚をさばいて干している人。</p> <p>カ. 木の実などの食べ物を干したり、土器で煮たりしている人。</p> <p>キ. 弓矢や槍などの狩りの道具を作っている人。</p> <p>ク. 太い丸太を加工して丸木舟を作っている人。</p> <p>ケ. 布をおったり、衣服をぬったりしている人。</p> <p>コ. 土器の形を作ったり、土器を焼いたりしている人。</p> <p>サ. 新しい竪穴住居を作っている人。</p> <p>シ. 生活ごみを集落の外れに捨てている人。</p> </div>	<p>理解のしやすさ 指導者による補足 (人々や集落の様子をより詳細に伝える)</p>
	76～77	絵	削除 修正	<p>「米づくりが広まったころの様子（想像図）」を削除し、資料アとして次のように文章化して追加した。</p>	<p>理解のしやすさ 指導者による補足（人々やむらの様子をより詳細に伝える）</p>

6年				<p>1. むらの様子</p> <p>ア. 20棟ほどの竪穴住居がある。</p> <p>イ. 10棟ほどの高床倉庫がある。</p> <p>ウ. 水路で隔てられた集落の外側に、水田が広がっている。</p> <p>エ. 道具作りをしている人たちの集まっている場所がある。</p> <p>オ. 高さのある楼閣のような建物と、いくつかの大型高床倉庫が集まっている場所がある。</p> <p>2. 人々の様子</p> <p>ア. 狩りの獲物（鳥やウサギなど）を手にしている人。</p> <p>イ. 漁でとった魚を入れたざるをもっている人。</p> <p>ウ. 木の枝を棒でつついて、木の実を落としている人。</p> <p>エ. イモのような食料を干したり、土器で煮たりしている人。</p> <p>オ. 土器の形を作ったり、土器を焼いたりしている人。</p> <p>カ. 布をおっている人。</p> <p>キ. 水田で稲刈りをしている人。</p> <p>ク. 刈った稲を船に乗せて運んでいる人。</p> <p>ケ. 稲を乾燥させたり脱穀したりしている人。</p> <p>コ. 脱穀した米を土器に入れ、高床倉庫に納めている人。</p> <p>サ. 土を耕して新しい水田を作っている人。</p> <p>シ. 木を加工して、くわやすきなどの農具や、木の器などを作っている人。</p> <p>ス. 銅たぐや青銅器を使った武器（ほこ）などを作っている人。</p> <p>セ. 楼閣の近くで、武器を持って戦うような舞を舞っている人。</p>	
78	本文	修正追加		「2枚の想像図」の記述を修正し、該当する想像図のページ数を追加した。	理解のしやすさ

6年	80	絵	削除 修正	資料ア「米づくりの様子（想像図）」の絵を削除し、説明を次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>今から約1800年前の登呂（静岡県）のむらの様子です。春から夏にかけての様子をえがいています。</p> </div>	理解のしやすさ
	81	地図	修正	資料イ「米づくりが伝わった経路」の地図を点図化した。	理解のしやすさ
		図	修正	資料カ「人々の食べ物（弥生時代）」を表化した。	理解のしやすさ
		写真	削除 修正	資料キ「米づくりが広がったところの食事（復元）」の写真削除し、説明を次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>写真には、赤米、だいこん、わかめ、大豆、あゆ、あさり、酒などが写っています。赤米は、白い米が中心になる以前に食べられていました。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足 (食事の盛り付けの様子)
	82	写真	削除	資料ア「吉野ヶ里遺跡」の写真、および説明の「2000年撮影」の記述を削除した。	理解のしやすさ
		地図	修正	資料ウ「吉野ヶ里遺跡・纏向遺跡」の地図を点図化した。	触察による把握
	83	写真	削除 修正	資料カ「銅たく」の写真を削除し、説明を次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>銅たくは、祭りのときにかざったりならしたりして使われたと考えられています。この銅たくの胴体部分には、138ページのキの資料のような、いくつかの絵がえがかれています。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足 (出土品の形や大きさ、色合い)
		絵	修正 追加	資料キ「銅たくにえがかれた絵」を点図化し、(ア)～(ウ)の資料番号を付した。	触察による把握 指導者による補足 (絵にえがかれたものや、その様子)
	84	写真	削除	資料ア「大仙（仁徳陵）古墳」の写真、および説明の「大山古墳とも表され、」を削除した。	理解のしやすさ
		写真	削除 追加	資料ウ「古墳にほうむられた豪族」の写真を削除し、次の説明を追加した。	理解のしやすさ 指導者による補足（ひつぎの中やまわりの様子）

6年			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ひつぎの中や周りには、刀やよろい、かぶとなどの武器、金属製の器や土器などが一緒に納められています。</p> </div>		
	写真	削除 追加	<p>資料エ「はにわ（群馬県出土）」の写真を削除し、次の説明を追加した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>よろいやかぶとなどを身に付けた、武人の姿のはにわです。</p> </div>	<p>理解のしやすさ 指導者による補足 (出土品の形や大きさ、色合い)</p>	
	85	地図	修正 追加	<p>資料オ「前方後円墳の分布と、規模の大きい古墳の数」の地図について、前方後円墳の分布は点図化し、規模の大きい古墳の数は文章化した。また、点図に次の説明を追加した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>前方後円墳は、北海道、青森県、岩手県、秋田県、沖縄県を除く全ての都道府県に分布しています。</p> </div>	<p>理解のしやすさ 触察による把握 指導者による説明 (前方後円墳の集中している場所、巨大な前方後円墳の多い場所)</p>
	86	写真	削除 追加	<p>資料ア「古墳づくりの様子（想像図）」を削除し、説明を次の文を追加した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>古墳の斜面に葺き石をしき詰めたり、穴を掘って埴輪を立てたりしている人々がいます。</p> </div>	<p>理解のしやすさ 指導者による補足 (古墳の大きさや形、働いている人々の様子)</p>
	88	グラフ	修正	<p>時代の長さを表すグラフを点図化した。</p>	<p>触察による把握 指導者による補足 (グラフの説明)</p>
	90	絵	削除 追加	<p>資料ア「東シナ海を航行する遣唐使船（想像図）」の絵を削除し、次の説明を追加した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>遣唐使船が荒波の中で航海をしています。</p> </div>	<p>理解のしやすさ 指導者による補足 (遣唐使船の様子)</p>
	91	地図	修正	<p>資料ウ「遣唐使船の航路」の地図を点図化した。</p>	<p>触察による把握 指導者による補足 (二つの航路の違い)</p>
	92	図	修正	<p>資料ウ「冠位十二階」を表化した。</p>	<p>理解のしやすさ。</p>
	93	地図	修正	<p>資料エ「7世紀ごろの東アジア」の地図を点図化した。</p>	<p>触察による把握 指導者による補足 (日本と中国、朝鮮の国々の位置関係)</p>
		ノート	修正	<p>ノートの記述を文章化した。</p>	<p>理解のしやすさ</p>

6年	94	写真	削除 修正	資料ア「木簡」の写真を削除し、説明を次のように修正した。 阿波国（今の徳島県）の木簡には「わかめ」の文字が、伊豆国（今の静岡県）の木簡には「かつお」の文字が書かれています。	理解のしやすさ 指導者による補足 (木簡の形や大きさ)
		写真	削除 追加	資料イ「平城京（復元模型）」の写真を削除し、平城京の地図、および大極殿、朱雀門、唐招提寺、東大寺の場所を点図で示した。	触察による把握 指導者による補足 (平城京の大きさや構造、 主要な施設の場所)
	95	地図	修正	資料エ「都に運ばれた生産物と、輸送にかかった日数」の地図について、都に運ばれた生産物は表化し、輸送にかかった日数は簡略化して点図化した。	触察による把握 理解のしやすさ
		写真	削除 修正	資料カ「都に住む貴族の食事の例」および資料キ「都に住む庶民の食事の例」の写真を削除し、表化した。 貴族 白米、汁、貝の汁、蘇（チーズ）、塩、白あえ、あゆ、あわび、寒天、えだ豆、果物、菓子、酒 庶民 玄米、海藻の汁、青菜、塩	理解のしやすさ 指導者による補足 (料理の並べ方や色合い)
	97	地図	修正	資料オ「大仏の材料の産出地」の地図について、国分寺の置かれた場所は削除し、銅、すず、水銀、金の産出地を文章化した。	理解のしやすさ
	98	地図	修正	資料ア「8世紀ごろの日本と世界のつながり」の地図を点図化した。	触察による把握
	99	写真	削除 修正	資料エ～サの写真を削除した。また、エ～ケの写真の説明を、次のように修正した。	理解のしやすさ 指導者による補足（形や色合い）

6年				<p>エ. 朝鮮出土の瑠璃杯 オ. ペルシャ出土の水差し カ. ペルシャ出土の器 キ. 瑠璃杯 (高さ11 c m。— エ. と似ています。) ク. 水差し (高さ41 c m。— オ. と似ています。) ケ. ガラスの器 (高さ8.5 c m。— カ. と似ています。)</p>	
	100	絵	削除 追加	<p>資料ア「都の貴族の屋しき（想像図）」の絵を削除し、次の説明を追加した。</p> <p>寝殿造の広い屋しきは、塀で囲まれています。屋しきの敷地内には大きな池といくつかの島が浮かぶ庭園があります。庭に出たり、池に浮かべた船に乗ったりして楽しんでいる貴族たちがいます。</p> <p>塀の外は道幅の広い道路になっており、馬を引いている人や荷物を運ぶ人たちが、にぎやかに行き交っています。屋しきの出入口になる門の外では、貴族たちが乗る牛車が何台も待っています。</p>	<p>理解のしやすさ 指導者による補足（屋しきの敷地内の様子、屋しきの外の様子）</p>
		地図	削除	<p>資料ア「都の貴族の屋しき（想像図）」に付随する平安京の位置を示す地図を削除した。</p>	<p>理解のしやすさ</p>
	102	図	修正	<p>資料イ「ひらがなとかたかな」の図を点図化した。</p>	<p>触察による把握 指導者による補足（ひらがなとかたかなの元となった漢字の説明）</p>
	105	地図	修正	<p>資料ウ「7世紀中ごろの東アジア」の地図を点図化した。</p>	<p>触察による把握</p>

6年	106 ～107	絵	削除 追加	資料ア「武士の館（想像図）」の絵を削除し、次の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>武士の館は、水をたたえた幅の広い堀で囲まれています。その内側には木の塀がめぐらされています。館の内と外は広い堀を渡る橋で結ばれていますが、館の入り口にはやぐらが組まれ、橋のたもとや橋の上で見張りを行っている人がいます。</p> <p>館の中は大変質素なつくりの建物が、何棟か建てられています。庭には、剣術や弓矢のけいこをしている人や、馬の世話をしている人、畑の手入れをしている人などがいます。</p> <p>館の外には水田や牧草地などが広がっており、田植えをしたり、牛を使って水田を耕したりしている人がいます。また、館の外にはけいこ場もあり、馬に乗りながら弓矢で的をねらうけいこをしている人がいます。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足（屋しきの敷地内の様子、屋しきの外の様子）
	109	地図	修正	資料エ「源氏と平氏が戦った場所」の地図を簡略化し、点図化した。	触察による把握 理解のしやすさ
	110	写真	削除 追加	資料ア「鎌倉の様子（復元模型）」の写真を削除し、点図の地図を追加した。	触察による把握 指導者による補足（切通しの位置の特徴）
	111	地図	修正	資料ウ「鎌倉街道」の地図を簡略化し、点図化した。	触察による把握 理解のしやすさ
		図	削除 修正	資料エ「ご恩と奉公の関係」の関係図を削除し、文章化した。	理解のしやすさ
	112	地図	修正	資料イ「モンゴルの広がり」の地図を点図化した。	触察による把握
	113	地図	修正	資料ウ「元軍の進路」の地図を簡略化し、点図化した。	触察による把握
	117	吹き出し	修正	ゆうまの吹き出しを、次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おじいちゃんの家にある和室は、東求堂にある書院造の部屋とよく似ているよ。</p> </div>	理解のしやすさ
				121	

6年	124～ 127	本文	修正	原典教科書124, 125ページの小単元名を「戦国の世の中 1」に修正し, 126, 127ページの小単元名を「戦国の世の中 2」として追加した。	単元の構造を明確にするため
	124～ 125	絵	削除 追加	資料ア「長篠の戦い」の絵を削除し, 次の説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>絵の左側の軍の陣地には, 木の柵が二重に構えられています。前の柵の前方には鉄砲を構えた兵士が横一列に並んでおり, 絵の右側の軍に鉄砲を向けています。また, 後ろの柵の後方にも鉄砲を構えた兵士たちが列をつくり, 右側の軍に鉄砲を向けています。</p> <p>絵の右側の軍は, 馬に乗った兵士がたくさんいます。また, ほとんどの兵士がやりを使って攻め込んでいます。一方で, 絵の左側の軍には, 馬に乗っている兵士も, やりを使っている兵士も, それほど多くはありません。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足(屏風図の左右の軍の様子の違い)
	126	地図	削除 修正	資料イ「主な戦国大名とその領地」の地図を削除し, 文章化した。	理解のしやすさ
	130～ 131	資料	修正	資料ア～ケを資料ウ～サに変更し, 同じ小単元「全国統一を旨とした織田信長」の前ページから連続した資料番号となるようにした。	単元内の資料の構成を明確にするため
	130	地図	修正	資料エ「信長の勢力拡大」の地図を簡略化し, 点図化した。	触察による把握 理解のしやすさ
	135	地図	修正	資料ウ「江戸のまちの広がり」の地図を簡略化し, 点図化した。	触察による把握 理解のしやすさ
	137	地図	削除	資料イ「16世紀ごろの世界」の地図を削除し, 説明のみを記した。	理解のしやすさ
	139	地図	修正 追加	資料イ「江戸までの道のり」の地図を点図化し, 行程を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(金沢) →今石動→高岡→魚津→泊→糸魚川→高田 →牟礼→榑→追分→板鼻→熊谷→浦和→(江戸)</p> </div>	触察による把握

6年	140	図	修正	資料イ「幕府領と大名領の割合」の円グラフを数表化した。	理解のしやすさ
		地図	修正	資料ウ「大名の配置」の地図を簡略化し、点図化した。	触察による把握 理解のしやすさ
	142	図	修正	資料イ「身分ごとの人口の割合」の円グラフを数表化した。	理解のしやすさ
	144	地図	修正	資料ア「日本と東アジア各地との貿易」の地図を点図化した。	触察による把握
	146	地図	修正	資料ア「鎖国のもとでの交流の窓口」の地図を点図化した。	触察による把握
	149	資料	修正 追加	ページ最下部の「17世紀初めごろのヨーロッパでは、…」の文章に資料オを付し、「当時の世界の様子」のタイトルを追加した。	單元内の資料の構成を明確にするため。
	150～ 151	絵	削除 追加	資料ア「日本橋付近の様子」の絵を削除し、次の文章を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日本橋のたもとを、多くの人々が肩をぶつけ合いながら歩いています。おけやぎるに魚を入れて売り歩いている人や、店の軒先で野菜を売っている人などがたくさんいます。天秤棒を担ぎ、さまざまなものを運んでいる人たちもたくさんいます。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足（人々の様子）
	153	絵	削除 追加	資料キ「ゴッホの絵」の絵を削除し、説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>資料キのゴッホの絵は、資料カの広重の浮世絵（人々が雨降りの中で川にかけられた橋を渡る様子の絵）をまねて描いたものです。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足（絵の構図）
156	図	修正	資料ウ「耕地面積の増加」の棒グラフを点図化した。	理解のしやすさ	

6年	157	地図	修正 追加	資料カ「全国を結ぶ交通と各地の主な産物」の地図について、全国を結ぶ交通は簡略化して点図化し、各地の主な産物は表で示した。また、点図に次の説明を追加した。 五街道以外にも、全国各地を結ぶ主な道が整備されました。また、日本海側から瀬戸内海、太平洋側をつなぐ航路も整備されました。	理解のしやすさ 触察による把握 指導者による説明 (五街道以外の主な街道と主な航路)
	160	地図	削除 修正	資料イ「主な藩校と私塾」の地図を削除し、表で示した。	理解のしやすさ
	161	図	修正	資料ウ「百姓一揆と打ちこわしの件数」の棒グラフを点図化した。	触察による把握
		絵	削除 追加	資料エ「江戸で起こった打ちこわし」の絵を削除し、次の説明を追加した。 人びとが米屋をおそっている様子を描いています。	理解のしやすさ 指導者による補足(人々の様子)
	166～ 167	資料	修正	「やってみよう」の内容を次のように修正した。 資料アと資料イの絵に描かれたことを比べて、人々の服装や交通の様子などのちがいを確認しよう。	理解のしやすさ
	166	絵	削除 追加	資料ア「明治時代の初め(1872年)の品川の様子」の絵を削除し、次の説明を追加した。 乗り物は蒸気機関車、馬車、船が描かれています。	理解のしやすさ 指導者による補足 (より詳細に伝える)
	167	絵	削除 追加	資料イ「江戸時代(1850年ごろ)にえがかれた品川の様子」の絵を削除し、次の説明を追加した。 乗り物は船と馬が描かれています。	理解のしやすさ 指導者による補足 (より詳細に伝える)

6年	167	写真	削除 追加	資料ウ「明治時代に建てられた小学校（山梨県富士川町）」の写真を削除し、次の説明を追加した。 瓦屋根の建物で、西洋風のつくりをしています。	理解のしやすさ 指導者による補足 (日本風の特徴と西洋風の特徴がどのように見られるかなど)
	168	絵	削除 追加	資料ア「ペリーが率いる艦隊と、防備を固める人々」の絵を削除し、次の説明を追加した。 軍艦は黒くぬらされていたため、「黒船」と呼ばれました。	理解のしやすさ 指導者による補足 (より詳細に伝える)
		地図	修正 追加	資料イ「条約によって開かれた港」の地図を簡略化して点図化し、次の説明を追加した。 日米和親条約での開港地 …函館 下田 日米修好通商条約での開港地 …函館 新潟 横浜 神戸 長崎	理解のしやすさ 触察による把握
	169	地図	修正 追加	資料ウ「ペリー艦隊の航路」の地図を簡略化して点図化し、次の説明を追加した。 ペリーは1852年11月24日にノーフォークを出発し、翌年の7月8日に浦賀に到着しました。	理解のしやすさ 触察による把握 指導者による補足
	170	資料	修正	資料ア「幕末の米の値段の移り変わり」のグラフを点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	171	写真	削除 修正	資料エ「五稜郭（北海道函館市）」の写真を削除し、次の説明を追加した。 上空から見ると星のような形をしています。	理解のしやすさ 指導者による補足 (西洋の城のつくりを参考にしたことなど)
	172	写真	削除 追加	資料ア「外国をおとずれた使節団」の写真を削除し、次の説明を追加した。 左から順に、木戸孝允、山口尚芳（ますか）、岩倉具視、伊藤博文、大久保利通が写っています。	理解のしやすさ 指導者による補足 (使節団の服装など)

6年	173	地図	修正	資料オ「廃藩置県」の地図を削除し、表化した。また、説明を次のように修正した。 1871年11月末の府県とその境を表しています。 →1871年11月末には3府72県が置かれていました。	理解のしやすさ
		資料	修正	資料カ「人口の割合（明治時代の初めごろ）」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	174	絵	削除	資料ア「富岡製糸場の内部」の絵を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (働いている人や工場の様子など)
	175	写真	削除 修正	資料カ「会社の設立と渋沢栄一」の渋沢栄一の写真を削除し、資料名に生没年を記載した。	理解のしやすさ
	176	絵	削除 追加	資料ア「明治時代の初めごろの東京（銀座）の様子」の絵を削除し、次の説明を追加した。 乗り物は馬、人力車、10人ほどの人を乗せた馬車が走っています。建物にはレンガが、道には石畳が使われていて、西洋風のまちなみが描かれています。	理解のしやすさ 指導者による補足 (166, 167ページの絵と比較する)
				資料ウ「小学校の授業風景」の絵を削除した。	
	177	資料	修正	資料エ「学校に通った子どもの割合の変化」のグラフを点図化した。	触察による把握
		地図	修正	「関係図に表そう」を「まとめよう」に修正し、関係図ではなく箇条書きで関係を整理する活動にした。	理解のしやすさ
178	資料	修正	年表の矢印で結ばれた項目は、年表中に矢印をつけて記載した。	理解のしやすさ	
	地図	修正	「関係図に表そう」を「まとめよう」に修正し、関係図ではなく箇条書きで関係を整理する活動にした。	理解のしやすさ	
180	絵	削除	資料ア「ノルマントン号事件が起こったときにえがかれた風刺画」の絵を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (風刺画の内容)	

6年	181	資料	削除	「不平等条約を結ぶ→168ページも見てみよう」等の項目を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	183	資料	削除	「富国強兵の政策→174ページも見てみよう」の項目を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	184	絵	削除 修正	資料ア「西南戦争」の絵を削除し、説明を次のように修正した。 政府軍と士族の反乱軍が戦いました。	理解のしやすさ 指導者による補足 (武器や服装)
		地図	削除 修正	資料イ「士族が反乱を起こした主な場所」の地図を削除し、現在の県名で表化した。	理解のしやすさ
	187	図	修正 追加	資料ウ「大日本帝国憲法にもとづく政治のしくみ」の図を簡略化し、点図化した。また、次の説明を追加した。 裁判所は天皇の名によって裁判を行い、内閣は天皇の統治を助けるものであるとされました。	理解のしやすさ
		絵	削除	資料キ「当時の投票の様子」の絵を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (風刺画であること、人々の様子)
	188	絵	削除 追加	資料ア「朝鮮と日本・清・ロシアの関係を風刺した絵」を削除し、説明に次の文を追加した。 左岸にはちょんまげに着物姿の日本人、右岸には中国の帽子をかぶった中国人がいます。日本人と中国人は釣竿をたらし、朝鮮という魚をつろうとしています。その様子を橋の上からロシア人がうかがっています。	理解のしやすさ 指導者による補足
	188	資料	削除	「学びのてびき」から「3人の人物や魚は、それぞれどこの国を表しているのだろう。」の文を削除した。	理解のしやすさ
		地図	修正	資料イ「日清戦争の戦場」の地図を簡略化し、点図化した。また、日本軍の進路の矢印を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (日本軍の進路)
		資料	修正	資料ウ「賠償金の使いみち」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ

6年	189	地図	修正	資料エ「日露戦争の戦場」の地図を簡略化し、点図化した。日本軍の進路の矢印を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (日本軍の進路)
		資料	修正	資料カ「二つの戦争の戦費・戦死者数」のグラフを点図化した。	触察による把握
	190	資料	修正	資料ウ「君死にたまふ(もう)ことなかれ」は現代仮名遣いのみを記した。	理解のしやすさ
	190～ 191	地図	修正	資料エ「日本の領土の変化」の地図を点図化し、1枚にまとめた。	理解のしやすさ 触察による把握 北方領土、竹島、尖閣諸島等は省略してある。
	191	資料	削除	「関税自主権→182ページも見てみよう」の項目を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (182ページで学習したこと)
	193	資料	修正	資料カ「工場の数・工場労働者の人数の移り変わり」のグラフを簡略化し、点図化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		写真	削除 修正	資料ケ「医学の発展に力をつくした野口英世」の野口英世の写真を削除し、資料名に生没年を記載した。	理解のしやすさ
	194	写真	削除 追加	新渡戸稲造の写真を削除し、「国際連盟」の資料に次の説明を追加した。 日本の新渡戸稲造(1862～1933年)は国際連盟で事務次長を務めました。	理解のしやすさ
	195	写真	削除 修正	資料キ「もとは、女性は太陽だった」の平塚らいてうの写真を削除し、資料中に生没年を記載した。	理解のしやすさ
197	本文	削除	あとの項目名と重複するため、次の文を削除した。 まとめた表を見ながら、気づいたことや考えたことを話し合いました。	理解のしやすさ	
196～ 197	資料	修正	年表は、次のとおり簡略化し変更した。	理解のしやすさ	

6年			<p>「目ざしたこと」「できごと」「結果」「条約」「人物」の項目名をつけて年代順に記載した。簡略化した項目は「年表の説明」に記載した。</p> <p>「年表の説明」結果…結果・影響 条約…条約改正への歩み</p>		
	200	地図	修正 追加	<p>資料エ「3月10日の空襲で被害を受けた地域」の地図を簡略化し、点図化した。また、説明に次の文を追加した。</p> <p>特に現在の江東区、墨田区、台東区、中央区、文京区が大きな被害を受けました。</p>	触察による把握
	203	地図	修正	資料エ「中国全土に広がる戦争」の地図を簡略化し、点図化した。	触察による把握
	204	資料	修正	資料ウ「日本とアメリカの航空機生産力のちがひ」のグラフを点図化した。	触察による把握
	205	地図	修正 追加	<p>資料エ「アジア・太平洋への戦争の広がり」の地図を簡略化し、点図化した。また、次の説明を追加した。</p> <p>日本軍はオーストラリアや太平洋の島々も空襲しました。</p> <p>日本軍の最大勢力範囲にあった地域 …ジャワ、スマトラ、タイ、ニューギニア、ビルマ、フィリピン、ボルネオ、マレー半島</p>	<p>理解のしやすさ 島等は省略してある。</p> <p>触察による把握 指導者による補足 (地名の場所や「日本軍の攻撃」の矢印など)</p>
	206	写真	修正 追加	<p>資料イ「まちなかに立てられた看板」の写真を削除し、次の説明を追加した。</p> <p>「日本人ならぜいたくはできないはずだ！」と書かれています。</p>	理解のしやすさ
	207	資料	修正	資料キ「戦争と国民生活の変化」の年表の各項目を簡略化し、「年表の説明」に記載した。	理解のしやすさ

6年			<p>「年表の説明」</p> <p>社会…社会の動き・戦争の状況</p> <p>生活…生活にかかわる主なできごと</p> <p>標語…当時の標語</p>		
	208	写真	削除 修正	資料ア「戦争中の教科書」の写真を削除し、教科書に書かれていることを文章で記載した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (どの言葉に戦争の影響が表れているか)
		写真	削除 追加	資料ウ「軍が行った訓練に参加する小学生」の写真を削除し、次の説明を追加した。	理解のしやすさ
				<p>男子は銃を構え、女子は人を担架に乗せて運ぶ訓練をしています。</p>	
	210	地図	修正 追加	資料ウ「空襲を受けた主な都市」の地図を簡略化し、点図化した。地図上で人数の階層は区別せず、次の説明を追加した。	理解のしやすさ 触察による把握 指導者の説明 (学校がある地域の被害の状況など)
				<p>空襲で亡くなった人数が5000人以上の都市 …東京、名古屋、神戸、大阪、広島、長崎</p>	
	214	資料	修正	年表の各項目を簡略化し、「年表の説明」に記載した。	理解のしやすさ
			<p>「年表の説明」</p> <p>経過…戦争の経過</p> <p>社会…社会の動き</p>		
214	図	修正	関係図を点図化した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (関係図の触察の仕方)	
216～ 219	本文	修正	原典教科書216、217ページの小単元名を「焼けあとからの出発 1」に修正し、218、219ページの小単元名を「焼けあとからの出発 2」として追加した。	単元の構造を明確にするため	

6年	216	写真	削除 追加	資料ア「『青空教室』で学ぶ子どもたち」の写真を削除し、次の説明を追加した。 空襲などで校舎が壊されたため、外でいすに座って授業をしています。机はありません。	理解のしやすさ 指導者による補足 (子どもたちの表情など)
		写真	削除 修正	資料イ「満州から引きあげてきた子どもたち」の写真を削除し、説明を次のように修正した。 家族の遺骨を首から下げている女の子もいます。	理解のしやすさ 指導者による補足
	219	資料	削除 修正	「日本国憲法の三つの柱」は「やってみよう」に記載し、「12ページも見てみよう」の記述は削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		写真	削除 追加	資料エ「戦争が終わっておよそ1年後の小学校の授業（広島市）」の写真を削除し、次の文を追加した。 教室の中で授業をしています。窓枠は大きく曲がり、壊れたままです。机を使っています。	理解のしやすさ 指導者による補足
	219	資料	修正	「調べ方」の3つ目の項目を次のように修正した。 インターネットや動画などから情報を集める。	理解のしやすさ
	220	写真	削除 追加	資料ア「戦後初めて行われた衆議院議員選挙で投票する人々（1946年）」の写真を削除し、次の説明を追加した。 二人の女性が投票しています。	理解のしやすさ 指導者による補足
資料		修正	資料ウ「選挙権の拡大（人口に対する割合）」のグラフを点図化した。	触覚による把握	
221	資料	削除 修正	資料エ「すみぬり教科書」の写真を削除し、「墨で消されていた部分に書かれていた文章」として記載した。	理解のしやすさ	

6年	223	地図	削除 修正	資料キ「東京オリンピック（1964年）の聖火リレーのコース」の地図を削除し、地図上の地名と国名を表記した。	理解のしやすさ
		絵	削除 追加	資料ケ「東京パラリンピック（1964年）のポスター」の絵を削除し、次の説明を追加した。 車いすに乗り、アーチェリーを構える選手が描かれています。	理解のしやすさ
	225	資料	修正	資料キ「電気製品の普及」のグラフを次の二つに分けて点図化した。 「電気掃除機、電気洗濯機、電気冷蔵庫のグラフ」 「白黒テレビ、カラーテレビ、クーラーのグラフ」	理解のしやすさ 触察による把握
	227	地図	修正	資料キ「北方領土」の地図を点図化した。	触察による把握
	228	本文	修正	学習活動の内容を次のように修正した。 カードに書き表そう。→ノートにまとめよう。 カードを書き足したり、できごとの順に並べたりしてみよう。→他のできごとともまとめたり、順番を確認したりしてみよう。	理解のしやすさ
		本文	修正	ゆうまのセリフを次のように修正した。 ぼくは、「電化製品の普及」についてまとめようかな。	理解のしやすさ
230	資料	修正	「選挙権の広がりをふり返る」の資料を年表化した。各項目は簡略化し、「年表の説明」に記載した。 「年表の説明」 政治…政治のしくみ 願い…当時の人々の願い 課題…当時の社会の課題	理解のしやすさ	

6年	234	グラフ	修正	資料ア「日本人が多く住む海外の国」を数表化した。	理解のしやすさ
		グラフ	修正	資料イ「日本に住む外国人」を数表化した。	理解のしやすさ
		グラフ	修正	資料ウ「日本の主な輸出相手国」を数表化した。	理解のしやすさ
		グラフ	修正	資料エ「日本の主な輸入相手国」を数表化した。	理解のしやすさ
	236 ～239	本文	修正	原典教科書236, 237ページの小単元名を「文化で深くつながっている国 アメリカ 1」に修正し, 238, 239ページの小単元名を「文化で深くつながっている国 アメリカ 2」として追加した。	単元の構造を明確にするため
	236	地図 国旗	修正	資料エ「アメリカ合衆国」の地図と国旗を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	237	図	削除 修正	資料オ「アメリカに本社があるハンバーガー会社の店の広がり」の地図を削除し, 凡例ごとに国名を列挙した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	238	グラフ	修正	資料イ「日本とアメリカの貿易」を数表化した。	理解のしやすさ
	239	地図	修正	アメリカ合衆国の地図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	240 ～243	本文	修正	原典教科書240, 241ページの小単元名を「経済でつながりの深い国 中国 1」に修正し, 242, 243ページの小単元名を「経済でつながりの深い国 中国 2」として追加した。	単元の構造を明確にするため
	240	グラフ	修正	資料ウ「日本の主な輸入品にしめる, 中国からの輸入の割合」を数表化した。	理解のしやすさ
		地図 国旗	修正	資料エ「中華人民共和国」の地図と国旗を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	241	グラフ	修正	資料カ「日本をおとずれた中国の人の数」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	243	地図	修正	資料ケ「中国の民族分布」を簡略化し, 点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握 指導者による補足
244 ～247	本文	修正	原典教科書244, 245ページの小単元名を「日系人が多く住む国 ブラジル 1」に修正し, 246, 247ページの小単元名を「日系人が多く住む国 ブラジル 2」として追加した。	単元の構造を明確にするため	

6年	244	地図 国旗	修正	資料ウ「ブラジル連邦共和国」の地図と国旗を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	245	グラフ	修正	資料ク「サンパウロの気温と降水量」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	248 ～251	本文	修正	原典教科書248, 249ページの小単元名を「豊かな石油資源をもつ国 サウジアラビア 1」に修正し, 250, 251ページの小単元名を「豊かな石油資源をもつ国 サウジアラビア 2」として追加した。	単元の構造を明確にする ため
	248	図	修正	資料イ「リヤドの気温と降水量」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
		地図 国旗	修正	資料ウ「サウジアラビア王国」の地図と国旗を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	249	グラフ	修正	資料エ「日本の石油の輸入先」を数表化した。	理解のしやすさ
	254	地図 国旗	修正	資料ウ「大韓民国」の地図と国旗を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	256 ～259	本文	修正	原典教科書256, 257ページの小単元名を「世界で活躍する日本人 1」に修正し, 258, 259ページの小単元名を「世界で活躍する日本人 2」として追加した。	単元の構造を明確にする ため
	256	地図	修正	資料ウ「パキスタンとアフガニスタン」を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	262	グラフ	修正	資料ウ「国連の活動費用の負担割合」を数表化した。	理解のしやすさ
	266 ～269	本文	修正	4ページを一つの小単元として構成した。資料番号を通しにしたため, 原典教科書268, 269ページの資料ア～オは資料ケ～スに修正した。	単元の構造を明確にする ため 単元内の資料の構成を明確にするため
	266	地図	削除 修正	資料イ「青年海外協力隊が活動している地域」の地図を削除し, 地域別に活動中の隊員の数と隊員が派遣されている国や地域を列挙した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	270	写真	削除 修正	資料ア「中村哲さん」の写真を削除し, タイトルを「難民を診療する中村哲さん」に修正した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	写真	削除 修正	資料イ「井本直歩子さん」の写真を削除し, タイトルを「ユニセフ職員として働く井本直歩子さん」に修正した。	理解のしやすさ 指導者による補足	